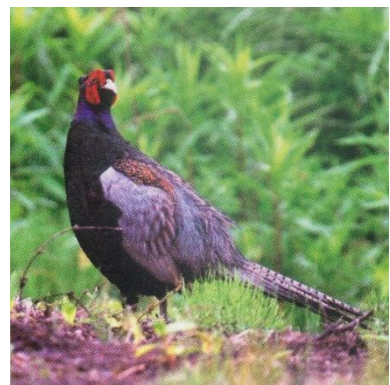


## 第1章

---

### 七戸町の現況



町の鳥：キ ジ

# 第 1 章 七戸町の現況

## 1. 地理的条件と沿革

### (1) 位置

七戸町は、青森県の東部、十和田市、三沢市、野辺地町、六戸町、東北町、横浜町、六ヶ所村、おいらせ町など 2 市 6 町 1 村で構成される上十三地域のほぼ中心部に位置し、東は東北町、西は青森市、南は十和田市、北は東北町、平内町にそれぞれ接する内陸部の町となっています。

また、市街地を国道 4 号が南北に縦断、国道 394 号が国道 4 号と交差し東西に横断しており、みちのく有料道路で青森市と結ばれているほか、県道が放射線状に近隣市町村に延びている、広域交通条件に恵まれた町です。

さらに、七戸町のほぼ中央に東北新幹線七戸十和田駅があり、東部には上北自動車道の一部である「天間林道路」の整備が進められており、交通の要衝と位置づけられるとともに、地理的条件の優位性から一体的な県土整備の要となっています。



図 1-1-1 七戸町の位置

## (2) 地勢

七戸町は、東西約 31km、南北約 26km のやや長方形上で、広さは 337.23km<sup>2</sup> の面積を有しています。

七戸町の西側一帯は標高 1,000mを超える八甲田連峰がそびえ、広大な国有林野が広がっています。また、山麓から東に延びる丘陵は高低差が少なく、八幡岳を源とする多くの河川が町内を流れ小川原湖に注ぎ込んでおり、その河川沿いには広大な水田地帯が形成されています。

隣接する県都青森市とは八甲田連峰をはさみ約 40km、南部地方の中心都市八戸市とは約 35km、上十三地域の中心都市十和田市とは約 15km、下北への玄関口野辺地町とは約 15km の距離にあります。

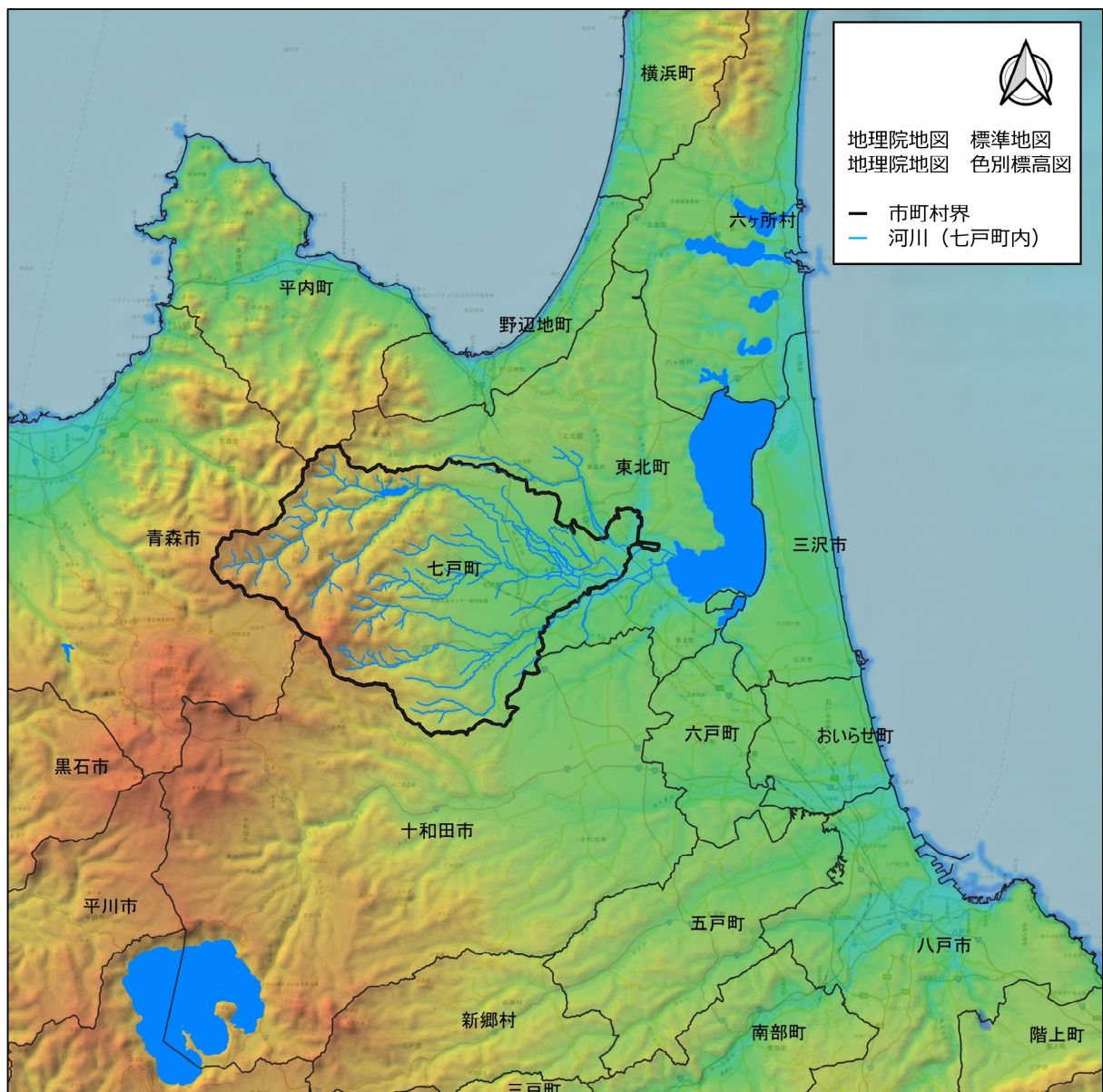


図 1-1-2 地形イメージ



## (3) 気候

七戸町の気候は、一年を通じて変化が激しく、なかでも6月、7月には霧雨を伴ったヤマセ（偏東風）のため気温の低い状態が続き、夏は短く、12月から3月にかけては北西の強い季節風が吹き、曇天、降雪の日が多くなっています。

七戸町周辺の観測地点（十和田気象観測所）の過去10年間の平均値を見ると、気温は、年平均で約9.9℃、最高気温の月平均は33.9℃（8月）、最低気温の月平均は-13.5℃（2月）と寒暖の差が大きく特に冬季の寒さが厳しくなっています。

降水量の月平均は89.2mmとなっており7月～10月の梅雨・台風時期にかけて多く、春季は比較的少ない状況となっています。

初雪は11月中旬に見られ、最深積雪量の平均は2月が最も多く48.6cmですが、七戸町の山間部においては最深積雪が2mを超える場所もあり内陸型の豪雪地帯となっています。

表 1-1-1 七戸町周辺の気候

十和田観測地点：10年間の平均値、2010年～2019年

|     | 気温(℃) |      |       | 降水量<br>(mm) | 平均風速<br>(m/s) | 日照時間<br>(H) | 降雪量<br>(cm) | 最深積雪<br>(cm) |
|-----|-------|------|-------|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
|     | 平均    | 最高   | 最低    |             |               |             |             |              |
| 1月  | -2.2  | 7.6  | -11.6 | 31.3        | 2.8           | 120.9       | 113.7       | 36.9         |
| 2月  | -1.7  | 11.0 | -13.5 | 33.9        | 2.7           | 132.5       | 97.7        | 48.6         |
| 3月  | 2.3   | 16.6 | -9.5  | 58.4        | 3.0           | 168.1       | 71.7        | 39.0         |
| 4月  | 7.9   | 23.7 | -4.8  | 62.0        | 2.9           | 190.1       | 5.3         | 4.9          |
| 5月  | 13.7  | 28.4 | 1.5   | 81.7        | 2.5           | 204.4       |             |              |
| 6月  | 16.9  | 29.2 | 6.8   | 86.3        | 2.0           | 159.5       |             |              |
| 7月  | 21.4  | 33.6 | 12.7  | 123.8       | 1.8           | 143.7       |             |              |
| 8月  | 22.6  | 33.9 | 13.2  | 188.4       | 1.8           | 151.6       |             |              |
| 9月  | 18.9  | 31.0 | 7.1   | 156.4       | 1.8           | 155.2       |             |              |
| 10月 | 12.3  | 24.8 | 0.2   | 135.6       | 2.2           | 157.7       |             |              |
| 11月 | 6.1   | 19.2 | -5.2  | 52.8        | 2.4           | 123.5       | 5.6         | 3.9          |
| 12月 | 0.5   | 12.5 | -11.1 | 59.7        | 2.7           | 115.7       | 56.1        | 17.5         |
| 平均  | 9.9   | 22.6 | -1.2  | 89.2        | 2.4           | 151.9       | 58.4        | 25.1         |

資料：気象庁（十和田気象観測所）

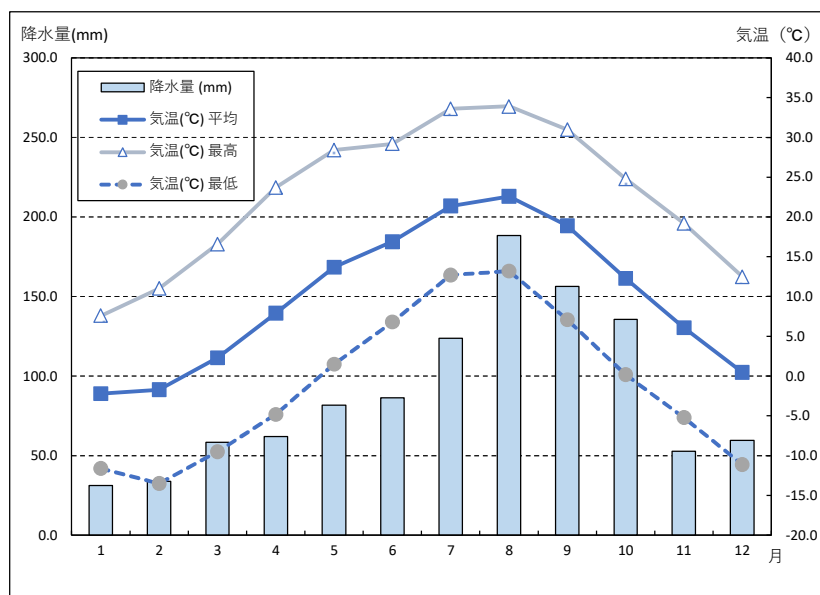


図 1-1-3 七戸町周辺の気候 資料：気象庁（十和田気象観測所）



日照時間は1,822.9時間/年で4月～5月にかけて多く190時間/月を超えていますが、12月は最も少なく115.7時間/月となっています。

昼間時間に占める日照の割合をみると、1月～5月、9月～12月にかけて40%を超えていますが、梅雨の時期を含む6月～8月は40%を下回り、日照の割合が非常に低くなっています。

表 1-1-2 月別日照時間と昼間時間に占める日照の割合

|     | 昼の時間(H)<br>(青森市) | 日照時間(H)<br>(十和田観測所) | 昼間時間に占める<br>日照の割合 |
|-----|------------------|---------------------|-------------------|
| 1月  | 298.3            | 120.9               | 40.5%             |
| 2月  | 297.8            | 132.5               | 44.5%             |
| 3月  | 369.8            | 168.1               | 45.5%             |
| 4月  | 398.7            | 190.1               | 47.7%             |
| 5月  | 448.0            | 204.4               | 45.6%             |
| 6月  | 451.7            | 159.5               | 35.3%             |
| 7月  | 458.2            | 143.7               | 31.4%             |
| 8月  | 427.4            | 151.6               | 35.5%             |
| 9月  | 374.6            | 155.2               | 41.4%             |
| 10月 | 345.4            | 157.7               | 45.7%             |
| 11月 | 298.4            | 123.5               | 41.4%             |
| 12月 | 288.6            | 115.7               | 40.1%             |
| 計   | 4,456.9          | 1,822.9             | 41.2%             |

(青森市における日出から日没の時間をもとに、十和田観測所の日照時間で日照の割合を算出)

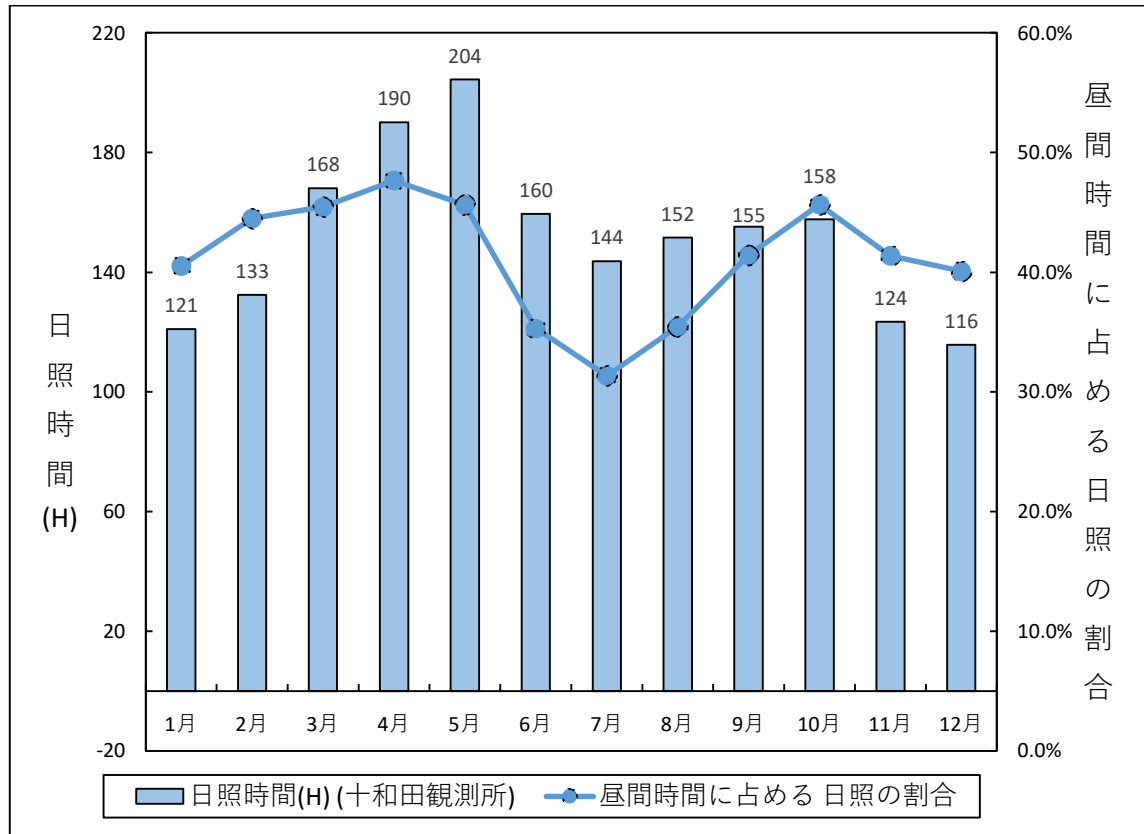


図 1-1-4 月別日照時間と昼間時間に占める日照の割合

#### (4) 沿革

縄文時代の遺跡は町内に数多く存在し、縄文前期（約 6,000 年前）の寺下遺跡などや亀ヶ岡式文化を代表する大型遮光器土偶を出土した山屋遺跡などがあります。ニツ森貝塚（約 5,500～4,000 年前）は平成 10 年に国史跡に指定されています。

奈良・平安時代の遺跡としては貝ノ口遺跡があり、10 世紀頃の大型竪穴住居跡や耕作跡、粘土採掘跡等が出土し、発達した古代都市の様子が明らかになりました。

建久 2 年（1191）に南部光行が甲斐の南部郷から糠部に下向し、その三男七戸太郎朝清が七戸領主になったとされています。その後、元中 9 年（1392）に根城南部 8 代目の南部政光が七戸に入り、七戸城が築城されます。

さらに七戸の地に見町観音堂や小田子不動堂が建立され、七戸は城下町、門前町として発展していきました。

天正 19 年（1591）、七戸氏とともに九戸の乱に加わった天間館城主天間館源左衛門は、秀吉の奥州仕置によって滅ぼされました。その後慶長 2 年（1597）に七戸南部氏が再興された時、天間林地方は七戸南部氏により統治され、寛文 4 年（1664）、七戸村に代官所が置かれて以来七戸代官所の統治下となり、その統治は幕末に及びました。

明治維新後、明治 2 年七戸藩、同 4 年「七戸県」、同 6 年「弘前県」を経て、「青森県」となりました。

「旧七戸町」は明治 9 年には第 7 大区 3 小区に属し、明治 22 年 4 月 1 日の市制町村制施行の際、「七戸村」は 1 村のみで存続し、明治 35 年、町制施行して「七戸町」が成立しました。

「旧天間林村」は明治 9 年には第 7 大区 2 小区に所属し、明治 22 年 4 月 1 日の市制町村制施行により、「天間館村」・「榎林村」・「野崎村」・「中岫村」・「花松村」・「附田村」・「ニツ森村」の 7 ヶ村が合併し、「天間館村」の“天間”と「榎林村」の“林”とをあわせ「天間林村」として成立しました。

平成 17 年に「旧七戸町」と「旧天間林村」が合併して新しい「七戸町」が誕生しました。

## (5) 文化・風景

## ①文化財等の分布状況

七戸町には 4 件の国指定文化財、7 件の県指定文化財、9 件の国登録文化財があります。

国指定文化財として、南部七戸見町観音堂庶民信仰資料、南部七戸小田子不動堂奉納絵馬の2件の重要有形民俗文化財、七戸城跡、二ツ森貝塚の2件の史跡が指定されています。

表 1-1-3 国県指定等文化財（令和2年4月1日現在）

| 区分       | 種別        | 指定年月日       | 名称                             | 員数   | 所在地            | 所有者及び保護団体 |
|----------|-----------|-------------|--------------------------------|------|----------------|-----------|
| 国        | 重要有形民俗文化財 | 平成2年3月29日   | 南部七戸見町観音堂庶民信仰資料                | 359点 | 上北郡七戸町字見町      | 見町観音堂講中   |
|          |           | 平成2年3月29日   | 南部七戸小田子不動堂奉納絵馬                 | 108点 | 上北郡七戸町字和田下     | 小田子不動堂講中  |
|          | 史跡        | 昭和16年12月13日 | 七戸城跡                           |      | 上北郡七戸町字貝ノ口     | 七戸町       |
|          |           | 平成10年1月16日  | 二ツ森貝塚                          |      | 上北郡七戸町字貝塚家ノ前   | 七戸町       |
| 県        | 建築物       | 昭和60年4月27日  | 見町観音堂                          | 1棟   | 上北郡七戸町字見町37-2  | 見町観音堂講中   |
|          |           | 平成9年7月30日   | 青岩寺本堂                          | 1棟   | 上北郡七戸町字町7      | 青岩寺       |
|          | 考古資料      | 昭和31年5月14日  | 蕨手刀                            | 1口   | 上北郡七戸町字七戸      | 個人        |
|          |           | 昭和37年11月16日 | 鯨骨製青竜刀形骨器、鹿角製尖頭器、猪牙製垂飾品、鹿角製叉状品 | 4点   | 上北郡七戸町字森ノ上210  | 七戸町教育委員会  |
|          |           | 昭和37年6月29日  | 一里塚                            | 2基   | 上北郡七戸町字卒古沢11   | (株)東北電力   |
|          | 史跡        | 昭和37年6月29日  | 一里塚                            | 2基   | 上北郡七戸町字森ノ上、森ノ下 | 七戸町       |
|          |           | 昭和31年5月14日  | 銀南木                            | 1本   | 上北郡七戸町字銀南木16-3 | 個人        |
|          | 天然記念物     | 昭和31年5月14日  | 銀南木                            | 1本   | 上北郡七戸町字銀南木16-3 | 個人        |
|          | 種別        | 指定年月日       | 名称                             |      | 所在地            | 所有者及び保護団体 |
| 国登録有形文化財 |           | 平成12年2月15日  | 旧七戸郵便局                         |      | 上北郡七戸町字七戸141   | 個人        |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場一号廬舎（南部曲屋育成廬舎）             |      | 上北郡七戸町字膝森14-1  | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場二号廬舎（育成廬舎）                 |      | 上北郡七戸町字膝森14-1  | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場三号廬舎（繁殖廬舎）                 |      | 上北郡七戸町字膝森14-1  | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場四号廬舎（繁殖廬舎）                 |      | 上北郡七戸町字膝森5     | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場五号廬舎（種牡馬廬舎）                |      | 上北郡七戸町字膝森5     | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場馬頭観音堂奥殿                    |      | 上北郡七戸町字膝森14-1  | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場馬頭観音堂拝殿                    |      | 上北郡七戸町字膝森14-1  | (有)金子ファーム |
|          |           | 平成12年2月15日  | 盛田牧場馬頭観音堂鳥居                    |      | 上北郡七戸町字膝森14-1  | (有)金子ファーム |

資料：あおもりの文化・七戸町

## 【南部七戸見町観音堂庶民信仰資料】

見町観音堂は、小田子不動堂と同じく、応永3年（1396）南部政光により創建されたとされ、当時の棟札も現存する。指定物件は、絵馬185点、羽子板14点、読経札113点、称名念仏札2点、納経札2点、順礼札8点、棟札14点、その他21点の計359点と多様性に富み、創建当時から江戸時代の当地域の特色ある庶民信仰の実態と推移を知ることができる貴重な資料である。



## 【南部七戸小田子不動堂奉納絵馬】

指定物件の108点はすべて絵馬で、中にかつて中世の絵馬として紹介されたものが4点あったが、現在紀年銘の確認できる91点の大部分は、江戸時代前期から後期のもので、図柄は馬を描いたものが最も多く、92点ある。この絵馬は、古くから良馬の産地として著名であった南部地方における江戸時代の絵馬奉納の本源的風習を示すものであり、質・量両面において、日本の小絵馬を代表する貴重なものである。

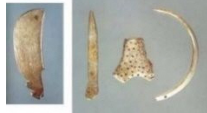


## 【七戸城跡】

七戸は平安時代後期には既に開かれていた。七戸の給主としては、14世紀はじめには北条氏の代官としての工藤氏の名が確認できるが、城の位置や築城年代は不詳である。北条氏が滅んだのち、七戸は伊達氏・結城氏を経て建武2年（1335）3月、八戸根城南部師行の弟政長の所領となる。七戸城はこの南部分政長の築城と伝えられており、南北朝時代には、八戸根城とともに南朝方の一大拠点として重きをなした。





|                                                                                                                                                                                   |                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【二ツ森貝塚】</p> <p>縄文時代前期～中期の貝塚を伴う集落遺跡。縄文時代前期～中期の円筒土器並びに中期後半期の大木系土器、石器・石製品・土製品、骨角器類(県重宝の鯨骨製青竜刀形骨器等)のほか、海水性・汽水性の貝層、魚類・鳥類・哺乳類の骨、人骨などが発見されている。</p>                                    |    |
| <p>【見町観音堂】</p> <p>長福寺の一堂として、南部政光により創建されたと伝え、応永3年(1396)の棟札も残されているが、現存するものはそれより後の江戸時代中期のものであろう。県内では数少ない近世の三間堂であり、平成9年1月に創建当初の茅葺屋根に復原された。さらに、本格的な復原修理工事がなされることによって、代表的な三間堂の姿を示す。</p> |    |
| <p>【青岩寺本堂】</p> <p>新撰陸奥国誌によると、青岩寺は、天正10年(1582)に円良和尚によって開山され、旧螺口というところにあったものを同年に当所へ移したものと伝えている。また、天保10年(1839)の「南部盛岡藩諸士御給人等知行所書上」では、寺領は馬洗場村、洞内村(現在の十和田市)に十石ずつあったことが知られる。</p>         |    |
| <p>【蕨手刀】</p> <p>奈良時代の刀の一種で、柄頭の形状が早蕨のように渦巻いた曲線を持つことから付いた名称である。全国で250例近い出土例が確認されており、東北地方を中心に東日本に集中している。地域的、年代的にも「蝦夷」と呼ばれた人々が所有した刀と考えられている。</p>                                      | <p>※個人所有のため非公開</p>                                                                    |
| <p>【鯨骨製青竜刀形骨器、鹿角製尖頭器、猪牙製垂飾品、鹿角製叉状品】</p> <p>鯨骨製青竜刀形骨器は形状により、内反りの同形石製品に類似し、その名が付けられた。柄の一部を欠損している。柄部から先端まで身幅の両面に沈線が彫られ、柄に2か所の切り込みがある。全面は丁寧に磨かれている。</p>                               |  |
| <p>【一里塚】</p> <p>一里塚は慶長9年(1604)徳川家康の命により、日本橋を基点とし、36町を一里と定め、一里ごとに、里程標として全国主要街道に築かせたものである。卒古沢の2基の一里塚はまことに美しく保存管理も万全であり、そこに立つ人をして江戸時代の街道にいるかの感を催させる、代表的な一里塚といえる。</p>                 |  |
| <p>【銀南木】</p> <p>推定樹齢700年、樹高約26m、目通り幹囲11.06mである。</p> <p>その昔、法身(心)和尚が身の栄達をさらって松島円福寺(瑞巖寺の前身)より移り、草庵を開いた門の前に植えたイチョウであるという。</p>                                                        |  |



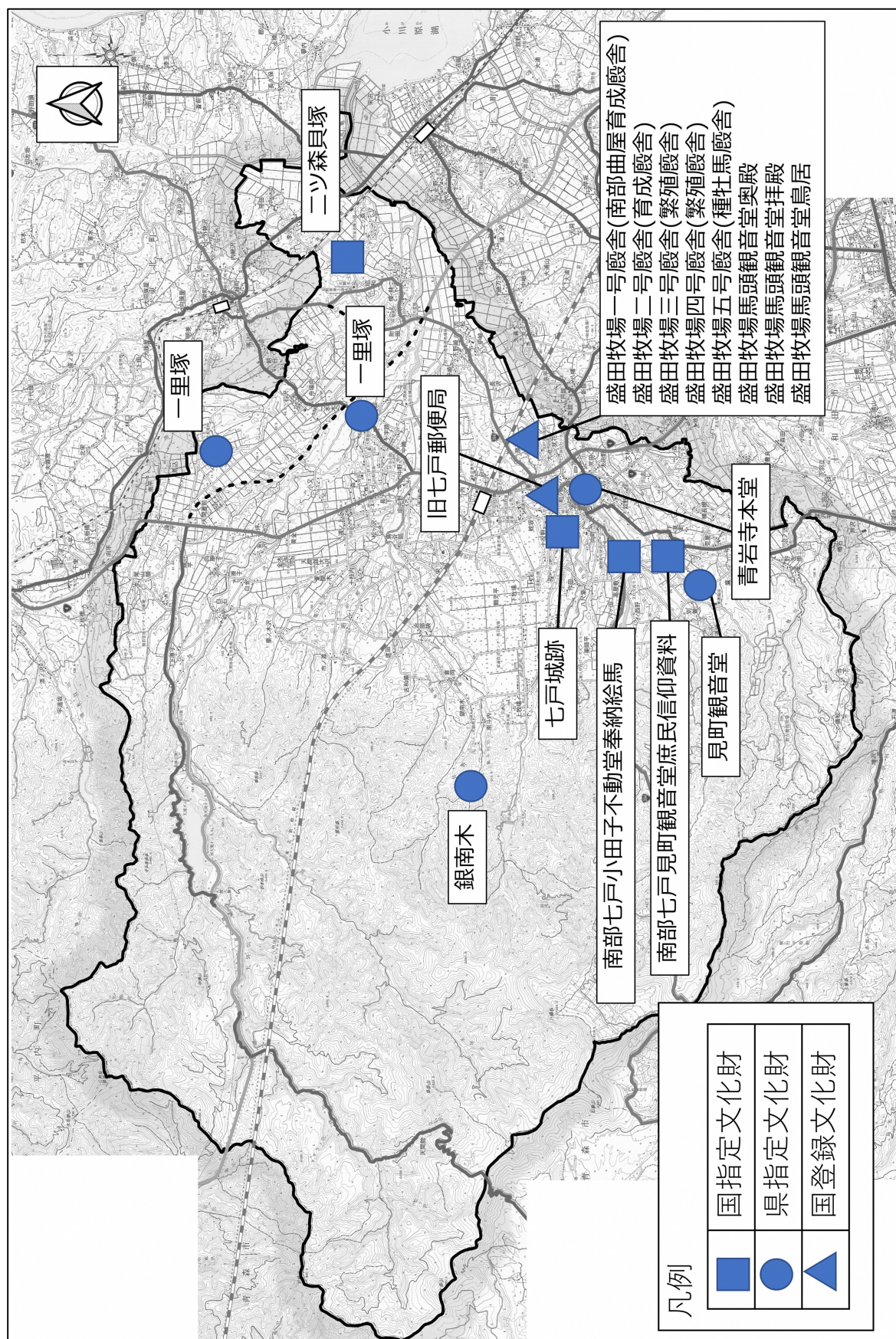


図 1-1-5 文化財位置図

## ②風景・景観資源の分布状況

七戸町には、環境省の自然景観資源となっているところが4箇所あります。主に町域の西側に位置し、火山が2件、非火山性孤峰が1件、滝が1件の計4件であり、自然環境保全上、重要な自然景観として位置づけられています。

良好な景観の形成や野生動物の生息環境、地域のシンボルとして人々の心のよりどころとなる巨樹・巨木は3件あり、特に天間館に集中して分布しています。

特定植物群落は3件あり、八幡岳に集中して分布しています。

表 1-1-4 自然景観資源

| No | 類型     | 名称    |
|----|--------|-------|
| 1  | 火山     | 七十森山  |
| 2  | 火山     | 石倉山   |
| 3  | 非火山性孤峰 | 半兵衛高森 |
| 4  | 滝      | 三階滝   |

資料：第3回自然景観資源調査（環境省）

表 1-1-5 巨樹・巨木

| No | 所在地 | 樹種名  | 幹周（主幹）<br>(cm) | 呼称     |
|----|-----|------|----------------|--------|
| 1  | 銀南木 | イチョウ | 1,290          | 子守イチョウ |
| 2  | 中野  | イチョウ | 940            |        |
| 3  | 森ノ上 | ケヤキ  | 1,080          |        |

資料：巨樹・巨木林データベース

表 1-1-6 特定植物群落

| No | 名称           | 選定基準       |
|----|--------------|------------|
| 1  | 八幡岳のユキワリコザクラ | 分布限界、乱獲の恐れ |
| 2  | 八幡岳のミヤマハンノキ林 | 自然林        |
| 3  | 八幡岳のミヤマナラ林   | 自然林        |

資料：第5回特定植物群落調査（環境省）



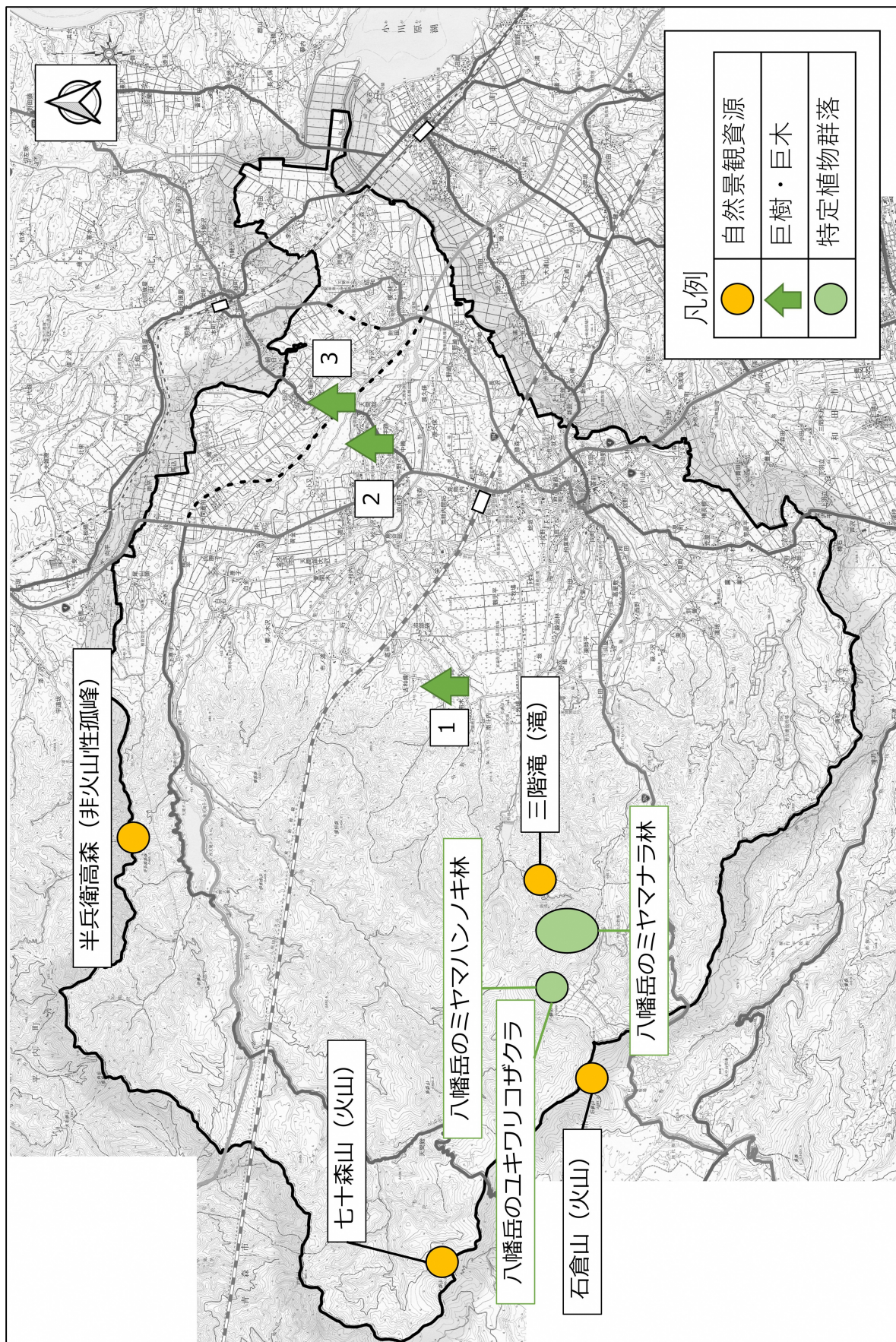


図 1-1-6 風景・自然景観



## 2 人口・世帯

### (1) 人口・世帯

七戸町の人口は平成2年の21,237人から減少を続け、平成27年の人口は15,709人となっています。

また、世帯数については平成12年まで増加傾向を示していましたが、その後は減少し、平成27年では5,572世帯となっています。

表 1-2-1 人口・世帯数の推移

|     |       | 平成2年   | 平成7年   | 平成12年  | 平成17年  | 平成22年  | 平成27年  |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人口  | 七戸町   | 21,237 | 20,209 | 19,357 | 18,471 | 16,759 | 15,709 |
|     | 旧七戸町  | 11,544 | 11,027 | 10,634 |        |        |        |
|     | 旧天間林村 | 9,693  | 9,182  | 8,723  |        |        |        |
| 世帯数 | 七戸町   | 5,734  | 5,781  | 5,938  | 5,823  | 5,713  | 5,572  |
|     | 旧七戸町  | 3,421  | 3,488  | 3,530  |        |        |        |
|     | 旧天間林村 | 2,313  | 2,293  | 2,408  |        |        |        |

資料：国勢調査

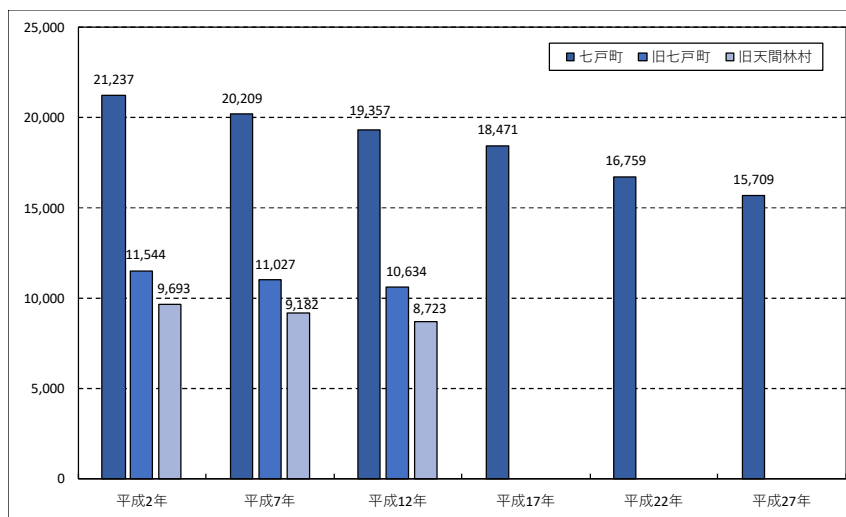


図 1-2-1 人口の推移

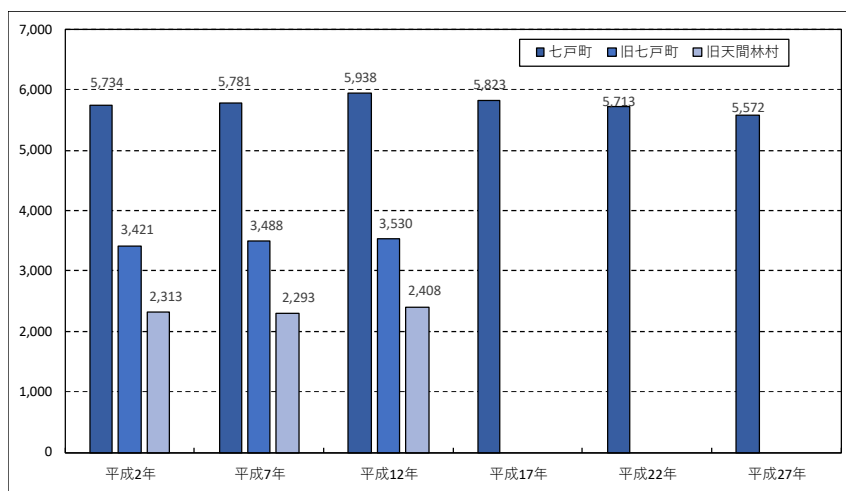


図 1-2-2 世帯数の推移

## (2) 人口構成

七戸町の平成2年から平成27年の年齢構成の推移をみると、65歳以上の高齢者人口の増加と15歳未満の年少人口の減少が著しくなっています。

平成2年と平成27年の年齢階層別人口を比較すると、60歳未満の年齢階層で減少しており、特に15歳未満は半数以下になっているという著しい減少が見られます。

表 1-2-2 年齢別人口

|       | 0～14歳 |       | 15～64歳 |       | 65歳～  |       | 年齢不詳 | 計      |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|--------|
|       | 人口    | 構成比   | 人口     | 構成比   | 人口    | 構成比   |      |        |
| 平成2年  | 4,414 | 19.5% | 13,777 | 64.9% | 3,316 | 15.6% |      | 21,237 |
| 平成7年  | 3,280 | 16.2% | 12,960 | 64.1% | 3,969 | 19.6% |      | 20,209 |
| 平成12年 | 2,676 | 13.8% | 12,099 | 62.5% | 4,565 | 23.6% | 17   | 19,357 |
| 平成17年 | 2,317 | 12.5% | 11,261 | 61.0% | 4,893 | 26.5% |      | 18,471 |
| 平成22年 | 1,949 | 11.6% | 9,656  | 57.6% | 5,152 | 30.7% | 2    | 16,759 |
| 平成27年 | 1,604 | 10.2% | 8,419  | 53.6% | 5,684 | 36.2% | 2    | 15,709 |

資料：国勢調査

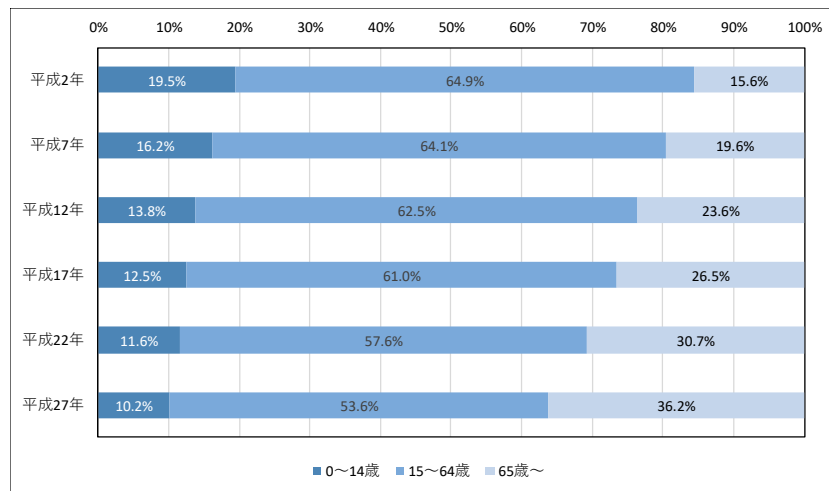


図 1-2-3 年齢別人口比

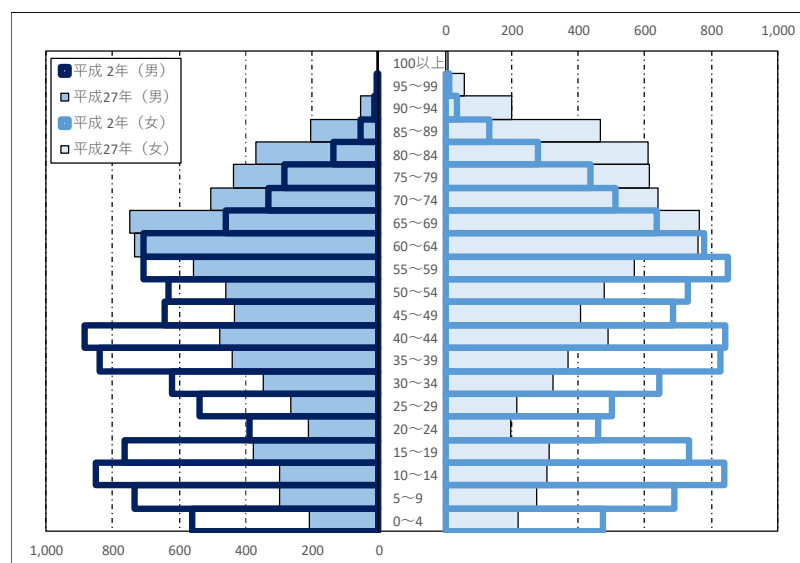


図 1-2-4 年齢階層(5歳毎)別人口の比較（平成2年、平成27年） 資料：国勢調査

## (3) 人口動態

## ①自然・社会動態

自然動態を出生死亡別にみると、出生者数は平成7年の175人から減少を続け、平成27年には74人となっているのに対し、死亡者数は平成7年の162人から増加傾向を示し、平成27年には243人となっています。七戸町の自然動態総数は平成7年では13人の増加でしたが、平成27年では169人の減少となっています。

社会動態を転入転出別にみると、転出者数は平成2年の1,049人から減少を続け、平成27年には469人となっていますが、転入者数も平成2年の853人から減少を続け、平成27年には362人となっており、七戸町社会動態総数では、すべての年で流出が多いマイナスの値を示しています。

表 1-2-3 自然動態

| 年次    | 出生  |    |    | 死亡  |     |     | 増減   |     |     |
|-------|-----|----|----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
|       | 総数  | 男  | 女  | 総数  | 男   | 女   | 総数   | 男   | 女   |
| 平成2年  | 160 | 80 | 80 | 180 | 107 | 73  | -20  | -27 | 7   |
| 平成7年  | 175 | 95 | 80 | 162 | 111 | 51  | 13   | -16 | 29  |
| 平成12年 | 141 | 69 | 72 | 215 | 116 | 99  | -74  | -47 | -27 |
| 平成17年 | 107 | 52 | 55 | 233 | 133 | 100 | -126 | -81 | -45 |
| 平成22年 | 98  | 46 | 52 | 240 | 122 | 118 | -142 | -76 | -66 |
| 平成27年 | 74  | 29 | 45 | 243 | 122 | 121 | -169 | -93 | -76 |

資料：七戸町

表 1-2-4 社会動態

| 年次    | 転入  |     |     | 転出   |     |     | 増減   |     |      |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|------|
|       | 総数  | 男   | 女   | 総数   | 男   | 女   | 総数   | 男   | 女    |
| 平成2年  | 853 | 471 | 382 | 1049 | 536 | 513 | -196 | -65 | -131 |
| 平成7年  | 849 | 434 | 415 | 866  | 434 | 432 | -17  | 0   | -17  |
| 平成12年 | 746 | 385 | 361 | 826  | 415 | 411 | -80  | -30 | -50  |
| 平成17年 | 602 | 320 | 282 | 682  | 361 | 321 | -80  | -41 | -39  |
| 平成22年 | 464 | 248 | 216 | 525  | 269 | 256 | -61  | -21 | -40  |
| 平成27年 | 362 | 190 | 172 | 469  | 237 | 232 | -107 | -47 | -60  |

資料：七戸町

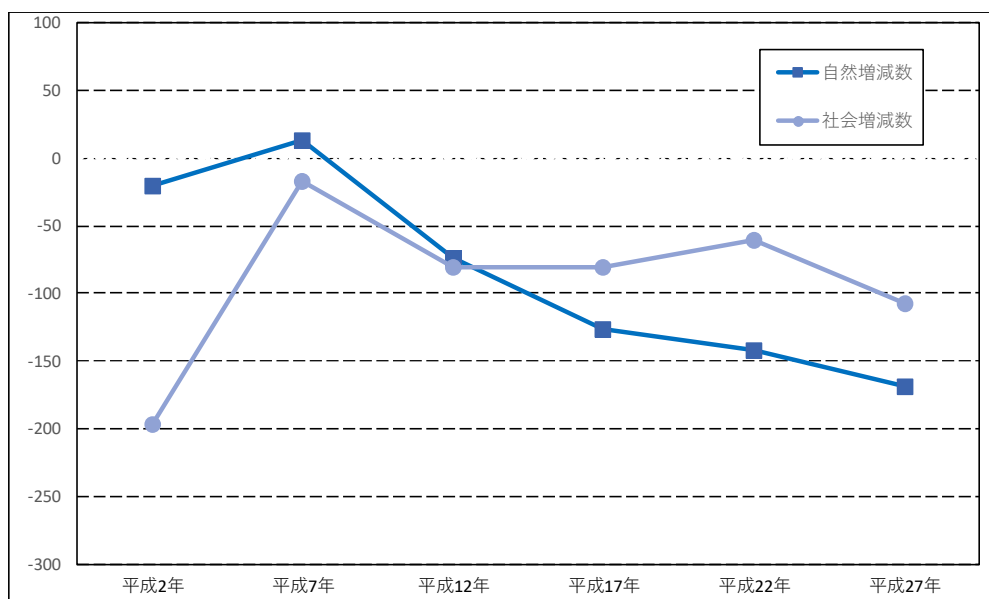


図 1-2-5 自然・社会動態

資料：七戸町



## ②通勤・通学動態

通勤動態をみると、全ての年度で流入者数より流出者数が上回っています。平成 27 年では流出者数 2,656 人に対し流入者数 1,915 人と約 750 人上回っています。

通勤動態の主な流出先は十和田市、東北町で、流入先も十和田市、東北町となっており、相互に密接な関係となっています。

通学動態をみると、平成 17 年までは流入者数より流出者数が上回っていましたが、平成 22 年から流出者より流入者が上回っています。平成 27 年では、流入者数が 296 人に対し、流出者数が 278 人と約 20 人上回っています。

通学動態の主な流入先は十和田市、東北町となっています。流出先は十和田市、八戸市、三沢市となっており、通学域の広域化傾向がみられます。

表 1-2-5 通勤動態

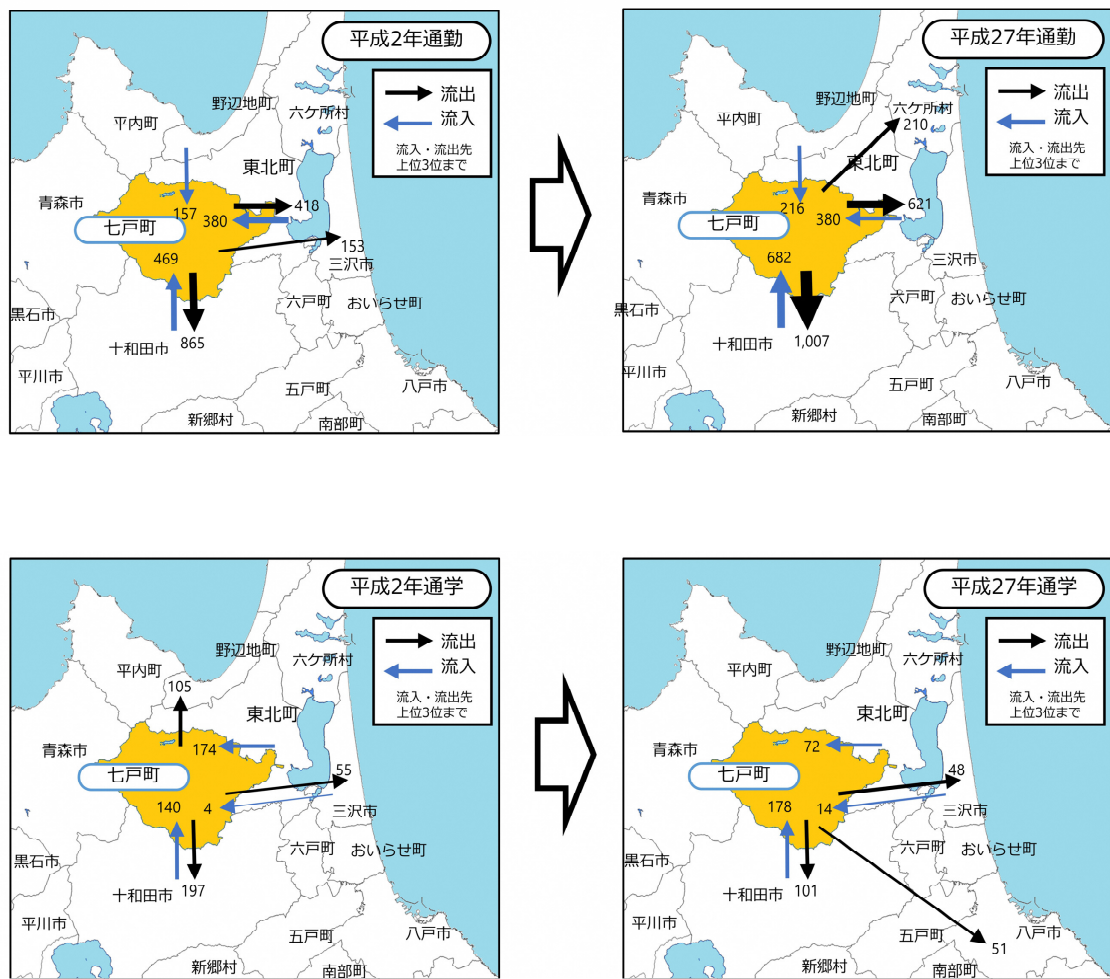
|     | 常住地<br>による<br>就業者<br>数 | 流出    |       | 従業地<br>による<br>就業者<br>数 | 流入    |       | 従/常<br>就業者<br>比率 | 流出先    |       |        |      |        |      | 流入先    |      |        |      |        |      |
|-----|------------------------|-------|-------|------------------------|-------|-------|------------------|--------|-------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|     |                        |       |       |                        |       |       |                  | 流出率第1位 |       | 流出率第2位 |      | 流出率第3位 |      | 流入率第1位 |      | 流入率第2位 |      | 流入率第3位 |      |
|     |                        | 就業者数  | 流出率   |                        | 就業者数  | 流入率   |                  | 市町村名   | 流出者数  | 市町村名   | 流出者数 | 市町村名   | 流出者数 | 市町村名   | 流入者数 | 市町村名   | 流入者数 | 市町村名   | 流入者数 |
|     |                        | (人)   | (人)   |                        | (%)   | (人)   |                  | (人)    | (%)   | (%)    |      | (人)    |      | (人)    |      | (人)    |      | (人)    |      |
| H2  | 10,604                 | 2,074 | 19.6% | 9,640                  | 1,155 | 12.0% | 90.9%            | 十和田市   | 865   | 東北町    | 418  | 三沢市    | 153  | 十和田市   | 469  | 東北町    | 380  | 野辺地町   | 157  |
| H7  | 10,039                 | 2,192 | 21.8% | 9,388                  | 1,541 | 16.4% | 93.5%            | 十和田市   | 1,017 | 東北町    | 526  | 三沢市    | 177  | 十和田市   | 627  | 東北町    | 533  | 野辺地町   | 182  |
| H12 | 9,756                  | 2,613 | 26.8% | 8,739                  | 1,596 | 18.3% | 89.6%            | 十和田市   | 1,124 | 東北町    | 646  | 三沢市    | 207  | 十和田市   | 631  | 東北町    | 541  | 野辺地町   | 162  |
| H17 | 9,079                  | 2,696 | 29.7% | 8,201                  | 1,818 | 22.2% | 90.3%            | 十和田市   | 1,142 | 東北町    | 649  | 三沢市    | 196  | 東北町    | 648  | 十和田市   | 643  | 野辺地町   | 207  |
| H22 | 8,213                  | 2,718 | 33.1% | 7,293                  | 1,742 | 23.9% | 88.8%            | 十和田市   | 1,092 | 東北町    | 668  | 野辺地町   | 196  | 十和田市   | 634  | 東北町    | 603  | 野辺地町   | 169  |
| H27 | 7,894                  | 2,656 | 33.6% | 7,163                  | 1,915 | 26.7% | 90.7%            | 十和田市   | 1,007 | 東北町    | 682  | 六ヶ所村   | 210  | 十和田市   | 682  | 東北町    | 621  | 野辺地町   | 216  |

資料：国勢調査

表 1-2-6 通学動態

|     | 該当都<br>市に<br>常住す<br>る通学<br>者数 | 流出   |       |       | 該当都<br>市に<br>通学す<br>る通学<br>者数 | 流入    |        |      | 通/常<br>通学者<br>比率 | 流出先    |      |        |      |        |      | 流入先    |      |        |      |        |  |
|-----|-------------------------------|------|-------|-------|-------------------------------|-------|--------|------|------------------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|--|
|     |                               |      |       |       |                               |       |        |      |                  | 流出率第1位 |      | 流出率第2位 |      | 流出率第3位 |      | 流入率第1位 |      | 流入率第2位 |      | 流入率第3位 |  |
|     |                               | 通学者数 | 流出率   | 通学者数  |                               | 流入率   | 市町村名   | 流出者数 |                  | 市町村名   | 流出者数 | 市町村名   | 流出者数 | 市町村名   | 流入者数 | 市町村名   | 流入者数 | 市町村名   | 流入者数 |        |  |
|     |                               | (人)  | (人)   | (%)   |                               | (人)   | (人)    | (%)  |                  | (%)    |      | (人)    |      | (人)    |      | (人)    |      | (人)    |      | (人)    |  |
| H2  | 1,317                         | 439  | 33.3% | 1,206 | 328                           | 27.2% | 91.6%  | 十和田市 | 197              | 野辺地町   | 105  | 三沢市    | 55   | 東北町    | 174  | 十和田市   | 140  | 三沢市    | 4    |        |  |
| H7  | 1,196                         | 397  | 33.2% | 1,108 | 309                           | 27.9% | 92.6%  | 十和田市 | 166              | 野辺地町   | 88   | 三沢市    | 80   | 十和田市   | 157  | 東北町    | 132  | 野辺地町   | 7    |        |  |
| H12 | 1,067                         | 379  | 35.5% | 1,016 | 328                           | 32.3% | 95.2%  | 十和田市 | 162              | 野辺地町   | 73   | 三沢市    | 70   | 十和田市   | 162  | 東北町    | 130  | 野辺地町   | 8    |        |  |
| H17 | 877                           | 385  | 43.9% | 795   | 303                           | 38.1% | 90.6%  | 十和田市 | 126              | 三沢市    | 83   | 八戸市    | 72   | 十和田市   | 129  | 東北町    | 125  | 野辺地町   | 15   |        |  |
| H22 | 667                           | 244  | 36.6% | 691   | 262                           | 37.9% | 103.5% | 十和田市 | 90               | 三沢市    | 53   | 野辺地町   | 46   | 十和田市   | 153  | 東北町    | 77   | 野辺地町   | 10   |        |  |
| H27 | 620                           | 278  | 44.8% | 639   | 296                           | 46.3% | 103.1% | 十和田市 | 101              | 八戸市    | 51   | 三沢市    | 48   | 十和田市   | 178  | 東北町    | 72   | 三沢市    | 14   |        |  |

資料：国勢調査



資料：国勢調査

図 1-2-6 通勤・通学動態（上位3位までの流出・流入先、図中数値の単位：人）

### 3. 産業

#### (1) 産業構造

産業大分類別の就業者比率をみると、第1次産業は平成2年の35%から平成27年には19%と著しい減少を示し、第2次産業は平成2年の25%から平成27年には23%と年次により増減がありますが微減の傾向を示しています。第3次産業は平成2年の40%から平成27年には58%と大きく増加しています。

また、産業中分類の就業者数をみると、平成2年に約3,700人と最も多かった農業就業者の減少が著しく、平成27年には約1,500人と半数以下に減少しています。サービス業は平成2年の約1,700人から平成27年には約2,600人と増加しており、平成27年には最も従業者数が多い分野となっています。

このほか、卸・小売業は平成2年の約1,600人から平成27年には約1,100人と減少しています。建設業は平成12年の約1,600人をピークに平成27年は約900人と約700人の減少を示し、製造業は平成2年の約1,400人をピークに平成27年は約900人と約500人の減少となっています。

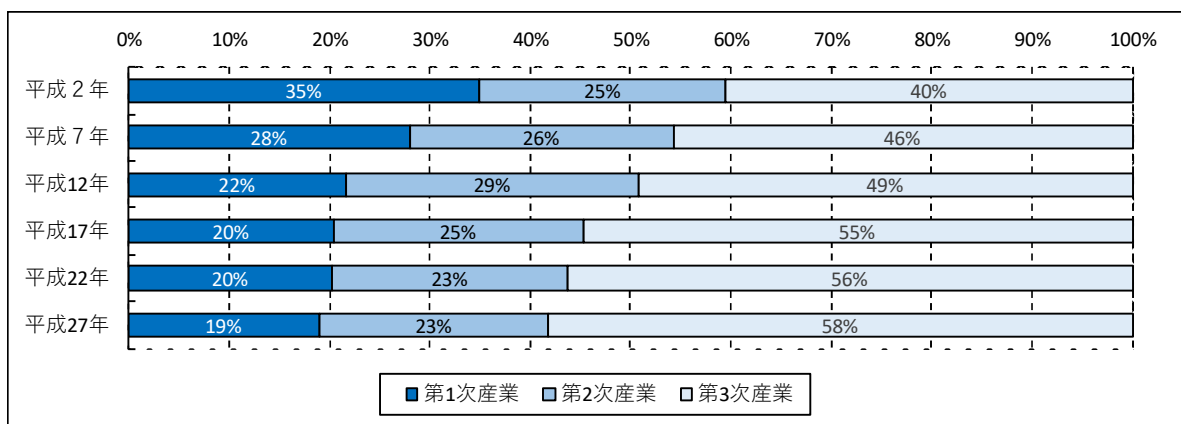


図 1-3-1 産業大分類別就業者比率の推移

資料：国勢調査

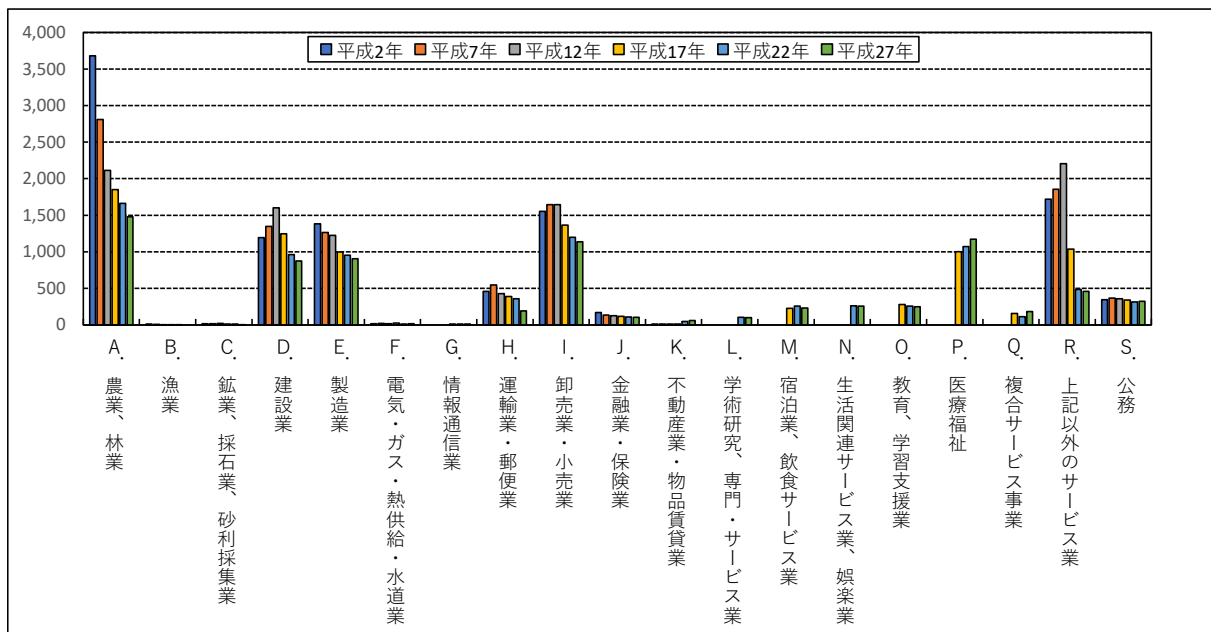


表 1-3-1 産業大分類別就業者及び比率の推移

|                  | 平成2年   |        | 平成7年   |        | 平成12年 |        | 平成17年 |        | 平成22年 |        | 平成27年 |        |
|------------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|                  | 就業者数   | 構成比    | 就業者数   | 構成比    | 就業者数  | 構成比    | 就業者数  | 構成比    | 就業者数  | 構成比    | 就業者数  | 構成比    |
| 第1次産業合計          | 3,694  | 35.0%  | 2,815  | 28.0%  | 2,115 | 21.7%  | 1,857 | 20.5%  | 1,667 | 20.3%  | 1,480 | 18.7%  |
| A. 農業、林業         | 3,681  | 34.9%  | 2,809  | 28.0%  | 2,113 | 21.7%  | 1,852 | 20.4%  | 1,665 | 20.3%  | 1,480 | 18.7%  |
| B. 漁業            | 13     | 0.1%   | 6      | 0.1%   | 2     | 0.0%   | 5     | 0.1%   | 2     | 0.0%   | -     | -      |
| 第2次産業合計          | 2,592  | 24.5%  | 2,632  | 26.2%  | 2,844 | 29.2%  | 2,252 | 24.8%  | 1,926 | 23.5%  | 1,783 | 22.6%  |
| C. 鉱業、採石業、砂利採集業  | 19     | 0.2%   | 17     | 0.2%   | 21    | 0.2%   | 9     | 0.1%   | 10    | 0.1%   | 3     | 0.0%   |
| D. 建設業           | 1,193  | 11.3%  | 1,350  | 13.4%  | 1,601 | 16.4%  | 1,248 | 13.7%  | 960   | 11.7%  | 875   | 11.1%  |
| E. 製造業           | 1,380  | 13.1%  | 1,265  | 12.6%  | 1,222 | 12.5%  | 995   | 11.0%  | 956   | 11.6%  | 905   | 11.5%  |
| 第3次産業合計          | 4,273  | 40.5%  | 4,592  | 45.7%  | 4,797 | 49.2%  | 4,970 | 54.7%  | 4,620 | 56.3%  | 4,531 | 57.4%  |
| F. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 17     | 0.2%   | 22     | 0.2%   | 19    | 0.2%   | 24    | 0.3%   | 13    | 0.2%   | 19    | 0.2%   |
| G. 情報通信業         | -      | -      | -      | -      | -     | -      | 15    | 0.2%   | 13    | 0.2%   | 13    | 0.2%   |
| H. 運輸業・郵便業       | 457    | 4.3%   | 546    | 5.4%   | 428   | 4.4%   | 389   | 4.3%   | 358   | 4.4%   | 291   | 3.7%   |
| I. 卸売業・小売業       | 1,553  | 14.7%  | 1,646  | 16.4%  | 1,645 | 16.9%  | 1,364 | 15.0%  | 1,198 | 14.6%  | 1,137 | 14.4%  |
| J. 金融業・保険業       | 167    | 1.6%   | 133    | 1.3%   | 126   | 1.3%   | 117   | 1.3%   | 107   | 1.3%   | 105   | 1.3%   |
| K. 不動産業・物品賃貸業    | 12     | 0.1%   | 15     | 0.1%   | 9     | 0.1%   | 13    | 0.1%   | 45    | 0.5%   | 59    | 0.7%   |
| L. 学術研究、専門・サービス業 | -      | -      | -      | -      | -     | -      | -     | -      | 104   | 1.3%   | 98    | 1.2%   |
| M. 宿泊業、飲食サービス業   | -      | -      | -      | -      | -     | -      | 226   | 2.5%   | 258   | 3.1%   | 231   | 2.9%   |
| N. 生活関連サービス業、娯楽業 | -      | -      | -      | -      | -     | -      | -     | -      | 262   | 3.2%   | 254   | 3.2%   |
| O. 教育、学習支援業      | -      | -      | -      | -      | -     | -      | 278   | 3.1%   | 255   | 3.1%   | 247   | 3.1%   |
| P. 医療福祉          | -      | -      | -      | -      | -     | -      | 1,001 | 11.0%  | 1,074 | 13.1%  | 1,170 | 14.8%  |
| Q. 複合サービス事業      | -      | -      | -      | -      | -     | -      | 158   | 1.7%   | 113   | 1.4%   | 182   | 2.3%   |
| R. 上記以外のサービス業    | 1,721  | 16.3%  | 1,858  | 18.5%  | 2,206 | 22.6%  | 1,038 | 11.4%  | 486   | 5.9%   | 458   | 5.8%   |
| S. 公務            | 345    | 3.3%   | 366    | 3.6%   | 361   | 3.7%   | 343   | 3.8%   | 315   | 3.8%   | 322   | 4.1%   |
| T. 分類不能の産業       | 1      | 0.0%   | 6      | 0.1%   | 3     | 0.0%   | 4     | 0.0%   | 19    | 0.2%   | 45    | 0.6%   |
| 合計               | 10,559 | 100.0% | 10,039 | 100.0% | 9,756 | 100.0% | 9,079 | 100.0% | 8,213 | 100.0% | 7,894 | 100.0% |

※平成2～12年・17年・22年～では、産業大分類方法が異なる

資料：国勢調査



※平成2～12年・17年・22年～では、産業大分類方法が異なる

資料：国勢調査

図 1-3-2 産業中分類別就業者比率の推移

## (2) 農業

七戸町の農家戸数は平成2年以降減少しています。経営内容別にみると、専業農家数は平成2年から平成12年までは減少していましたが、平成17年からは増加を示しています。第1種兼業農家数は平成2年の524戸から平成27年の189戸、第2種兼業農家数は平成2年の1,539戸から平成27年の471戸とそれぞれ約3分の1に激減しています。

表 1-3-2 農家戸数の推移

|       | 総農家数  | 専業農家 | 兼業農家  | 第1種兼業 | 第2種兼業 |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 平成2年  | 2,432 | 369  | 2,063 | 524   | 1,539 |
| 平成7年  | 2,143 | 272  | 1,871 | 444   | 1,427 |
| 平成12年 | 1,976 | 246  | 1,730 | 343   | 1,387 |
| 平成17年 | 1,764 | 246  | 1,518 | 277   | 1,241 |
| 平成22年 | 1,219 | 290  | 929   | 267   | 662   |
| 平成27年 | 959   | 299  | 660   | 189   | 471   |

資料：農林業センサス

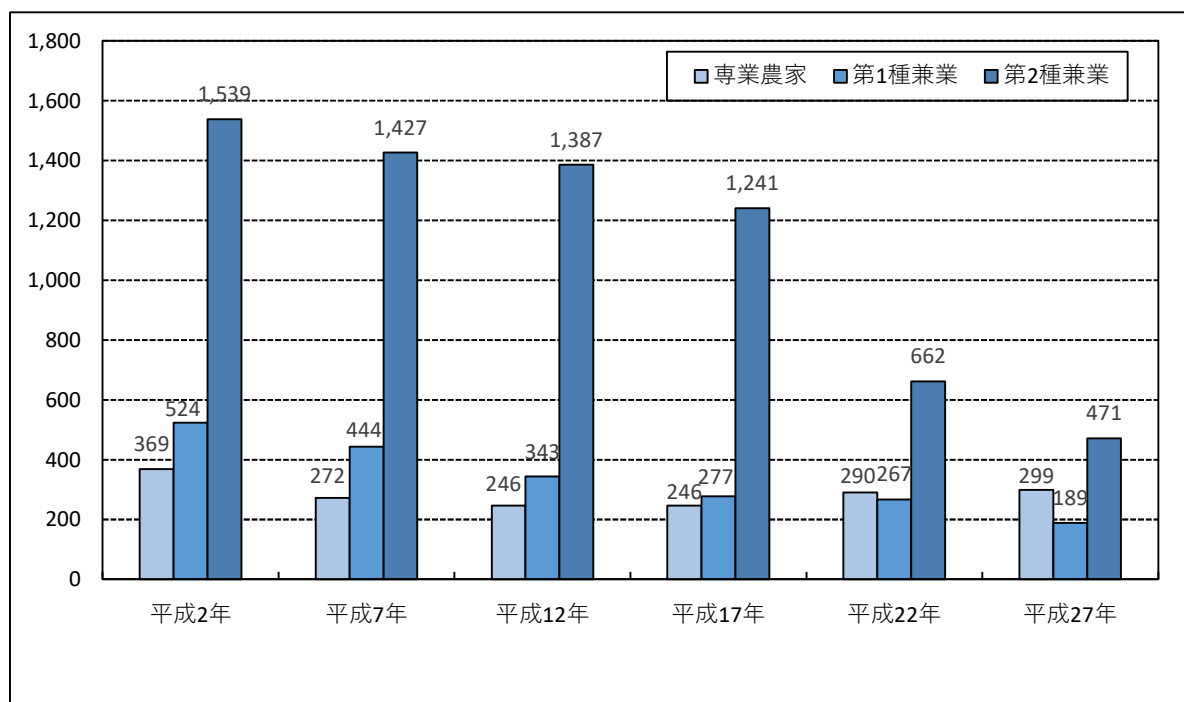


図 1-3-3 農家戸数の推移

資料：農林業センサス

経営規模別の農家数をみると、平成2年には2.0～3.0haが最も多く470戸、次いで3.0～5.0haの418戸、0.5～1.0haの388戸、1.0～1.5haの336戸となっており、比較的経営規模の大きい農家が多い状況でした。

平成2年から平成27年にかけて総農家数が減少しているなか、増加となっているのは5.0ha以上の農家であり、経営規模の大規模化の傾向がみられます。

表 1-3-3 経営規模別農家戸数の推移

|       | 総農家数  | 0.3ha未満 | 0.3<br>～<br>0.5 | 0.5<br>～<br>1.0 | 1.0<br>～<br>1.5 | 1.5<br>～<br>2.0 | 2.0<br>～<br>3.0 | 3.0<br>～<br>5.0 | 5.0ha<br>以上 | 例外規定 |
|-------|-------|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|------|
| 平成2年  | 2,432 | 197     | 169             | 388             | 336             | 317             | 470             | 418             | 131         | 6    |
| 平成7年  | 2,143 | 47      | 142             | 332             | 280             | 270             | 421             | 376             | 153         | 5    |
| 平成12年 | 1,976 | 163     | 119             | 268             | 275             | 231             | 372             | 387             | 161         | 0    |
| 平成17年 | 1,764 | 269     | 77              | 245             | 214             | 204             | 290             | 297             | 167         | 0    |
| 平成22年 | 1,219 | 3       | 69              | 187             | 157             | 146             | 218             | 241             | 195         | 3    |
| 平成27年 | 959   | 2       | 45              | 148             | 130             | 94              | 181             | 118             | 177         | 1    |

資料：農林業センサス

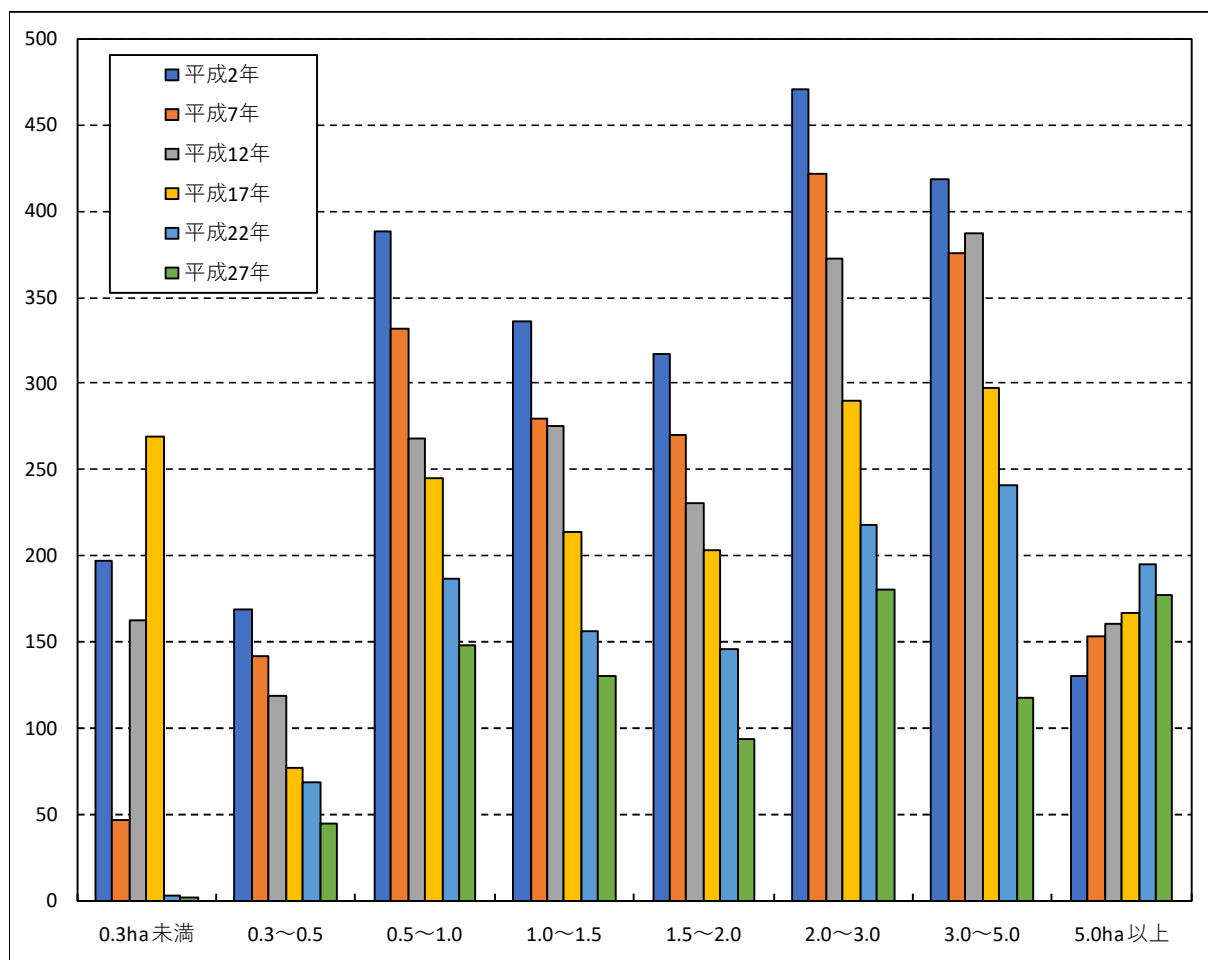


図 1-3-4 経営規模別農家数の推移

資料：農林業センサス

農業生産額についてみると、耕種は野菜の生産額が最も多く、平成29年には30億円と増加傾向です。次いで生産額が多い米は、近年約12億円前後で推移しています。

畜産では、肉用牛が圧倒的に多く、約45億円前後で推移しています。

表 1-3-4 農業生産額の推移（単位：千万円）

|       | 合計  | 耕種  |     |    |     |    |    |       |     | 畜産  |     |     |    |     |
|-------|-----|-----|-----|----|-----|----|----|-------|-----|-----|-----|-----|----|-----|
|       |     | 小計  | 米   | 豆類 | 野菜  | 果実 | 花き | 工芸農産物 | その他 | 小計  | 肉用牛 | 乳用牛 | 豚  | その他 |
| 平成26年 | 870 | 394 | 130 | 2  | 241 | 5  | 2  | 8     | 5   | 476 | 441 | 14  | 15 | 7   |
| 平成27年 | 917 | 403 | 110 | 3  | 269 | 5  | 3  | 9     | 4   | 513 | 477 | 15  | 15 | 7   |
| 平成28年 | 944 | 452 | 123 | 3  | 307 | 5  | 2  | 8     | 3   | 492 | 456 | 15  | 14 | 7   |
| 平成29年 | 922 | 451 | 131 | 2  | 300 | 4  | 2  | 7     | 4   | 471 | 436 | 16  | 14 | 6   |

資料：市町村別農業産出額（推計）

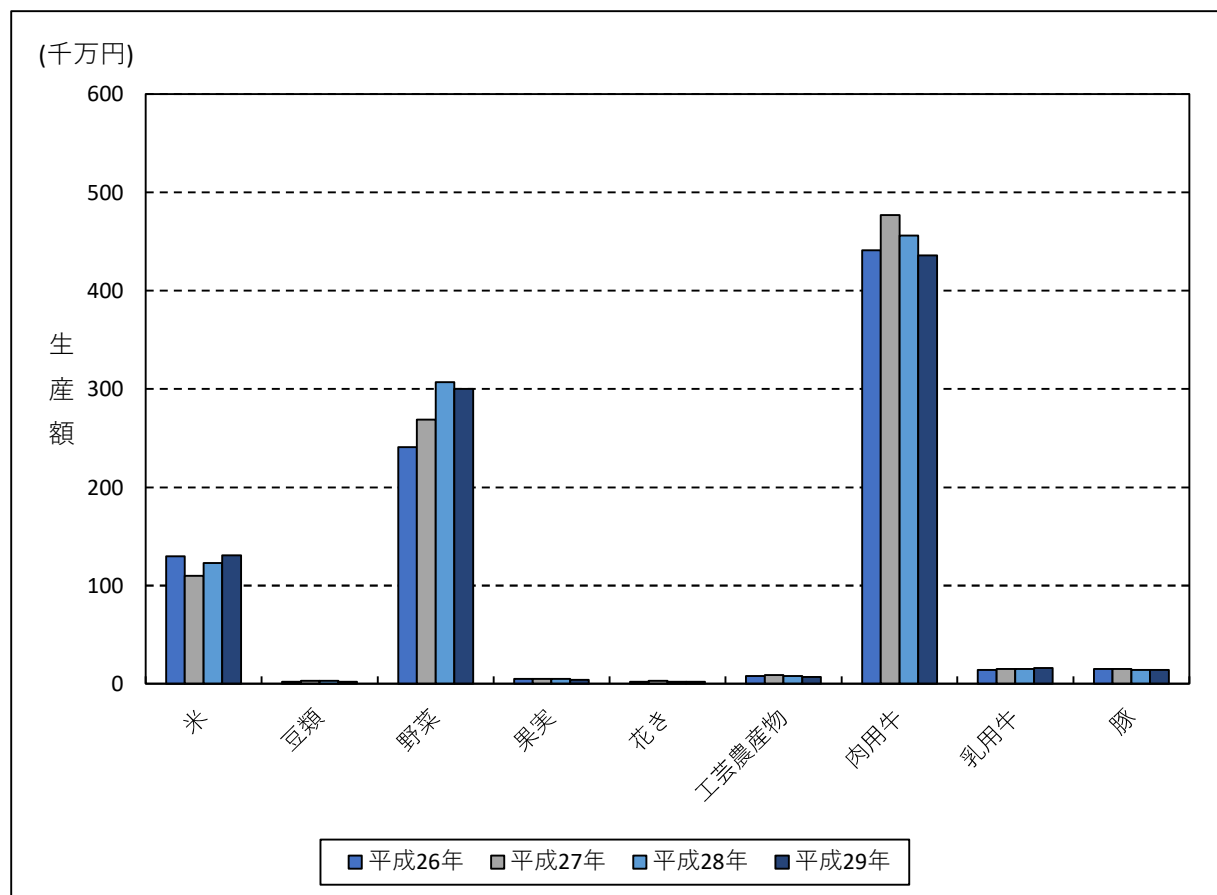


図 1-3-5 農業生産額の推移

資料：市町村別農業産出額（推計）



## (3) 工業

七戸町の工業の推移をみると、事業所数は平成2年の38事業所が最も多く、その後は減少傾向となり、平成27年で27事業所となっています。

従業者数については、平成2年の1,081人が最も多く、平成27年で529人に減少しています。

製造品出荷額は平成2年の約80億円から平成7年の約98億円と急激な伸びを示しましたが、平成7年以降は減少に転じ、平成27年で約57億円とピーク時の約60%に減少しています。

表 1-3-5 事業所、従業者数、製造品出荷額等の推移

|       | 事業所数 | 従業者数<br>(人) | 製造品出荷額等<br>(万円) |
|-------|------|-------------|-----------------|
| 平成2年  | 38   | 1,081       | 797,411         |
| 平成7年  | 32   | 986         | 980,545         |
| 平成12年 | 34   | 886         | 798,382         |
| 平成17年 | 34   | 716         | 668,245         |
| 平成22年 | 30   | 715         | 570,573         |
| 平成27年 | 27   | 529         | 573,152         |

資料：工業統計調査、経済センサス

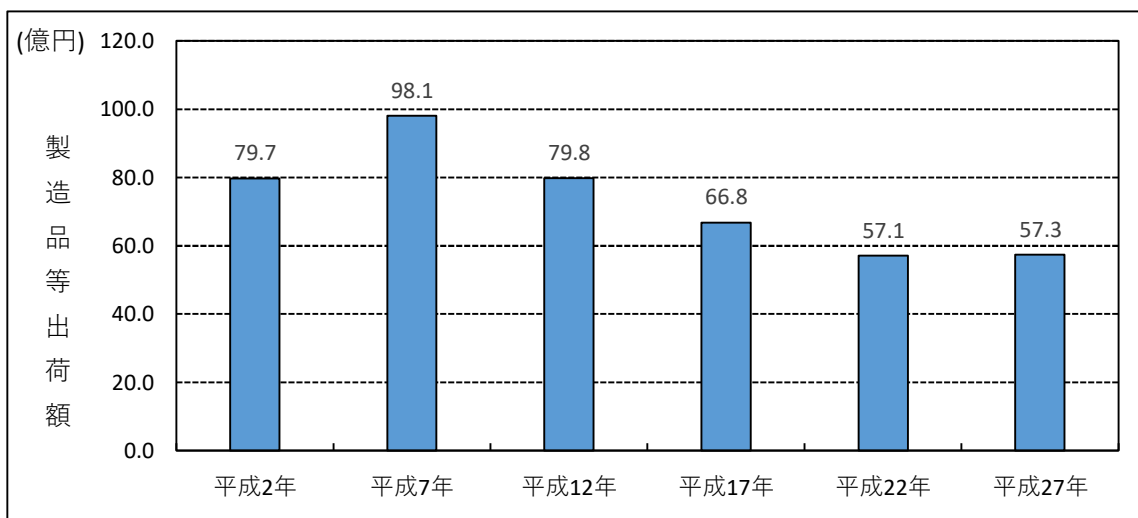
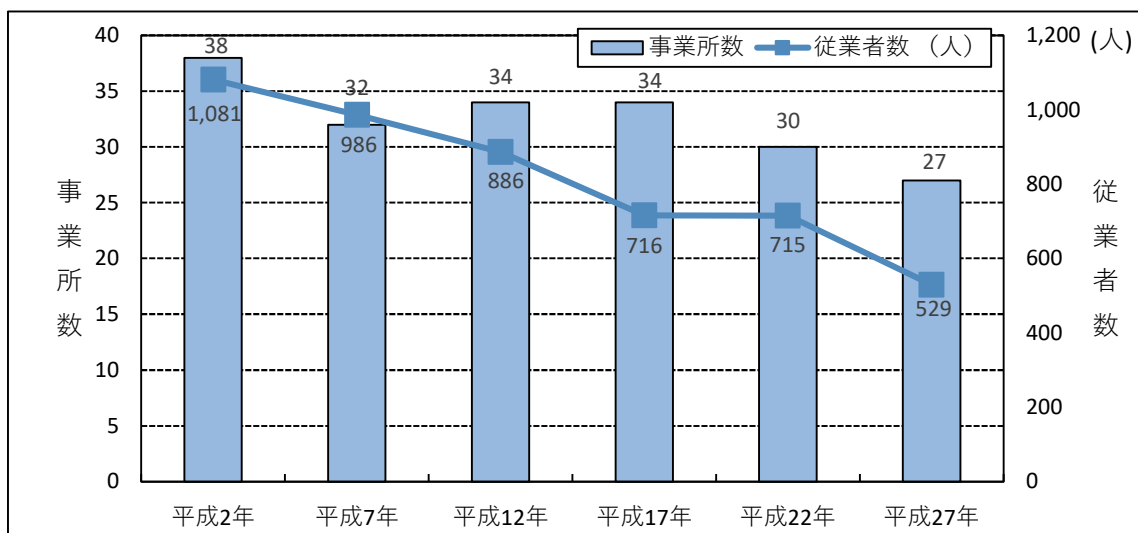


図 1-3-6 事業所、従業者数、製造品出荷額等の推移

## (4) 商業

七戸町の商業の推移をみると、事業所数は平成16年の231事業所から減少し、平成26年には163事業所となりましたが、平成28年には増加に転じて184事業所となっています。

従業者数については、平成16年の1,210人から減少し、平成24年には939人となりましたが、それ以降は増加に転じ、平成28年には1,073人となっています。

年間商品販売額は、平成16年の約219億円から平成19年の約230億円と増加しましたが、平成24年には約193億円と減少し、平成26年以降、約225億円前後と横ばいで推移しています。

表 1-3-6 事業者、従業者、年間販売額の推移

| 年     | 業種  | 事業所数 | 従業者数  | 年間商品販売額（万円） |
|-------|-----|------|-------|-------------|
| 平成16年 | 卸売業 | 40   | 201   | 838,000     |
|       | 小売業 | 191  | 1,009 | 1,350,600   |
|       | 計   | 231  | 1,210 | 2,188,600   |
| 平成19年 | 卸売業 | 51   | 254   | 947,100     |
|       | 小売業 | 172  | 946   | 1,356,100   |
|       | 計   | 223  | 1,200 | 2,303,200   |
| 平成24年 | 卸売業 | 37   | 236   | 828,400     |
|       | 小売業 | 131  | 703   | 1,100,800   |
|       | 計   | 168  | 939   | 1,929,200   |
| 平成26年 | 卸売業 | 40   | 298   | 1,030,100   |
|       | 小売業 | 123  | 673   | 1,249,100   |
|       | 計   | 163  | 971   | 2,279,200   |
| 平成28年 | 卸売業 | 39   | 178   | 833,300     |
|       | 小売業 | 145  | 895   | 1,422,700   |
|       | 計   | 184  | 1,073 | 2,256,000   |

資料：商業統計調査、経済センサス

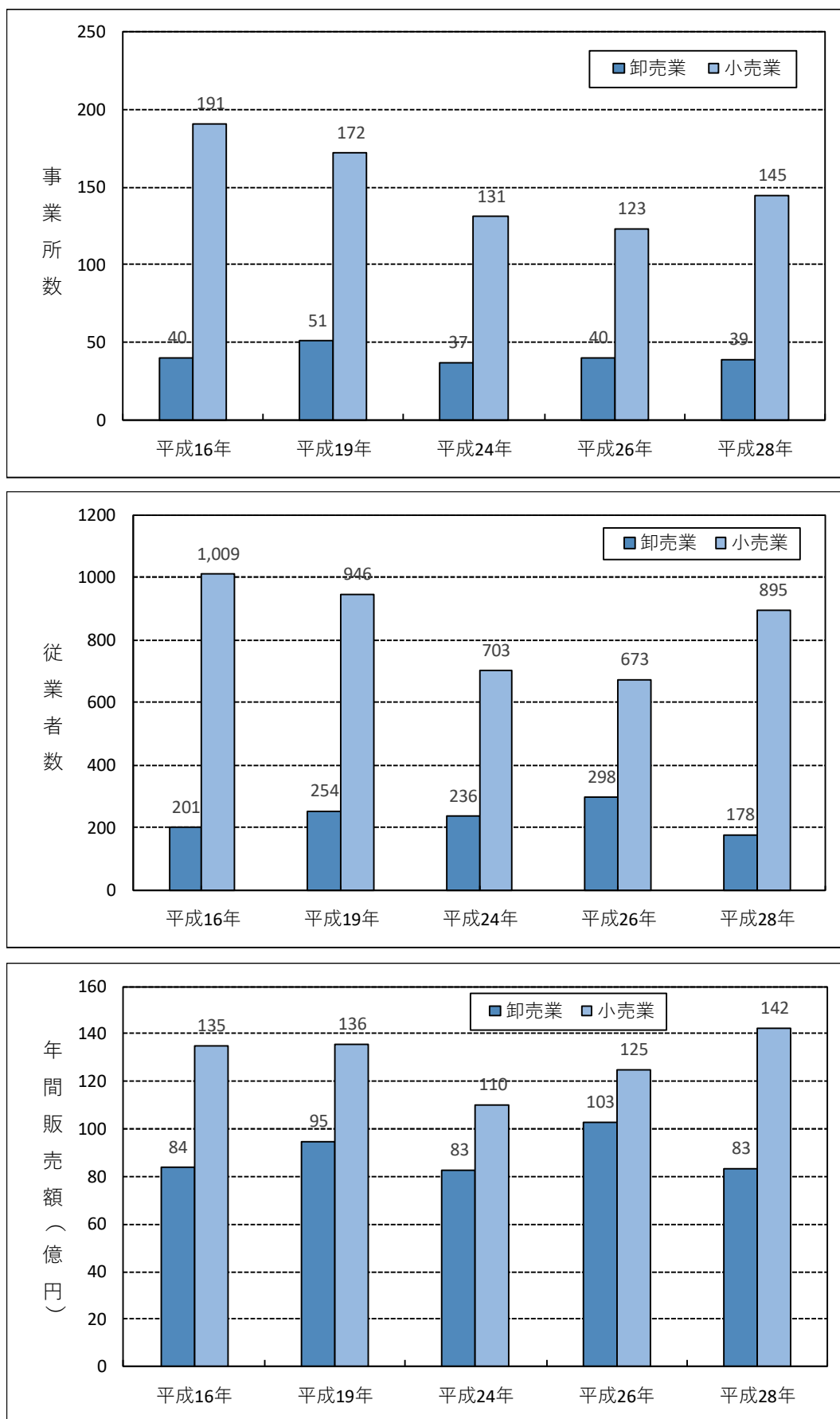


図 1-3-7 事業所数、従業者数、年間販売額の推移 資料：商業統計調査、経済センサス

## (5) 地域固有の産業

現在七戸町では、クリーンな農産物の促進を図り、基幹産業である一次産業の活性化に努め、地域の生活文化に根ざした食文化（地産地消文化）を推進しています。

地域特産品は、観光のみならず地域振興にとって重要な要素であり、農産物を商材とした加工品等を中心に、異業種との連携を図りながら、相互販売、話題となる宣伝戦略等を展開し、「売り甲斐」「買い甲斐」のある「七戸ブランド」の確立を目指し、「食」による七戸町のイメージアップを図るために、次のようなプロジェクトが進められています。

## ＜プロジェクトテーマ＞

- 七戸町特産品（特有野菜等）の認証制度の推進
- 地域特産品の地域内消費拡大
- 商材を活かした第6次産業化に向けた農商工連携の強化
- 長期的・総合的な特産品開発や地域リーダーの育成
- 七戸町観光交流センターを核とした、七戸十和田駅圏域各市町村特産品のPRと販売

## ＜主な特産品＞

- ・長いも・トマト・にんにく
- ・地酒
- ・アピオス（ほどいも）
- ・黒にんにく
- ・すごろくあめ、南部飴
- ・南部裂織
- ・にんにくオイル
- ・リンゴジュース
- ・ビーフジャーキー



地酒



アピオス（ほどいも）



黒にんにく



## (6) 観光・レジャー・イベント等

七戸町の年間観光入り込み客数は平成 30 年で約 83 万人であり、平成 2 年の約 24 万人に比べ約 3.5 倍と大きな伸びを示しています。

施設等の種類別については、道の駅しちのへ（七戸町文化村）が最も多く平成 30 年では約 73 万人、次いで七戸町中央公園の約 4.2 万人、東八甲田ローズカントリーの約 2.1 万人となっており、施設利用の観光が多くなっています。

イベントでは旧正まける日が最も多く約 2.3 万人、次いでしちのへ秋まつりが約 1.5 万人、しちのへバラまつりが約 1.3 万人となっています。

表 1-3-7 観光入り込み客数の推移（単位：千人）

|        | 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | 平成30年 |
|--------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入り込み客数 | 238  | 321  | 746   | 930   | 842   | 856   | 826   |

資料：青森県観光統計概要、青森県観光入込客統計

表 1-3-8 主要施設・イベント等の入れ込み客数（単位：人）

|       | 種別              | 平成30年   |
|-------|-----------------|---------|
| 主要施設  | 道の駅しちのへ（七戸町文化村） | 733,396 |
|       | 東八甲田ローズカントリー    | 20,987  |
|       | 鷹山宇一記念美術館       | 15,532  |
| キャンプ場 | 東八甲田家族旅行村       | 2,814   |
|       | 七戸町中央公園         | 41,951  |
| スキー場  | 町営スキー場          | 11,487  |
| まつり   | 旧正まける日          | 23,000  |
|       | 天王つつじまつり        | 14,050  |
|       | しちのへバラまつり       | 12,727  |
|       | しちのへ夏まつり        | 3,600   |
|       | しちのへ秋まつり        | 15,000  |
|       | しちのへオータムフェスタ    | 1,390   |

資料：青森県観光入込客統計

上十三地域の主な観光施設、まつり・イベントは以下に示すように多くの施設や行事があり、全国的に有名な十和田八幡平国立公園や下北半島国定公園の入込み客数は非常に多く、平成30年の入込み客数は十和田八幡平で約223万人、下北半島で約66万人となっています。

主要施設では道の駅とわだ、道の駅しちのへ（七戸町文化村）、道の駅おがわら湖など、道の駅の入込み客数が多くなっています。

まつり・イベントでは十和田湖冬物語、十和田市秋まつり、みさわ七夕まつりなどで入込み客数が多くなっています。

表 1-3-9 上十三地域の主な観光施設、まつり・イベント等の状況

| 市町村   | No | 主要施設             | 平成30年<br>入込客数 | 市町村   | No | まつり・イベント          | 平成30年<br>入込客数 | 開催月日        |
|-------|----|------------------|---------------|-------|----|-------------------|---------------|-------------|
| 十和田市  | 1  | 道の駅とわだ           | 601,204       | 十和田市  | 1  | 十和田湖冬物語           | 235,135       | 2/2～2/25    |
|       | 2  | 石ヶ戸休憩所           | 385,406       |       | 2  | 十和田市春まつり          | 151,000       | 4/20～5/5    |
|       | 3  | 道の駅奥入瀬           | 264,212       |       | 3  | 奥入瀬まろんパークフェスティバル  | 8,500         | 7/7～7/8     |
|       | 4  | 十和田市現代美術館        | 151,961       |       | 4  | 十和田湖湖水まつり         | 25,235        | 7/14～7/15   |
|       | 5  | 奥入瀬渓流館           | 121,494       |       | 5  | 十和田市夏まつり          | 52,000        | 8/14        |
|       | 6  | 十和田市馬事公苑広場等      | 97,373        |       | 6  | 十和田市秋まつり          | 197,000       | 9/7～9/9     |
|       | 7  | 奥入瀬湧水館           | 97,304        |       | 7  | 世界流鎗馬選手権          | 15,000        | 10/20～10/21 |
|       | 8  | 十和田市観光物産センター     | 25,986        |       | 8  | とわだYosakoi夢まつり    | 13,000        | 9/23        |
|       | 9  | 十和田湖観光交流センター     | 36,490        | 三沢市   | 9  | みさわほっきまつり         | 17,000        | 3/11        |
|       | 10 | 十和田湖温泉スキー場       | 10,791        |       | 10 | みさわ小川原湖湖水まつり      | 20,000        | 7/22        |
| 三沢市   | 11 | Sky Plaza MISAWA | 437,526       |       | 11 | みさわ七夕まつり          | 153,000       | 7/27～7/29   |
|       | 12 | 三沢市民の森温泉浴場       | 204,470       |       | 12 | 三沢まつり             | 136,500       | 8/23～8/26   |
|       | 13 | 道の駅みさわくれ馬ばへく     | 189,540       |       | 13 | みさわ港まつり           | 60,000        | 9/2         |
|       | 14 | 三沢航空科学館          | 176,855       |       | 14 | 三沢基地航空祭           | 75,000        | 9/9         |
|       | 15 | 三沢市民の森各施設        | 61,120        |       | 15 | 三沢アメリカンデー         | 80,000        | 6/3         |
|       | 16 | ビートルビーチ          | 10,613        |       | 16 | MISAWA BBQ ジャンボリー | 5,000         | 10/7        |
|       | 17 | 道の駅みさわ斗南藩記念観光村   | 11,511        | 野辺地町  | 17 | のへじ春祭り            | 8,100         | 4/29～5/6    |
|       | 18 | 寺山修司記念館          | 9,917         |       | 18 | のへじ花火大会           | 18,000        | 7/15        |
|       | 19 | 小川原湖湖水浴場         | 9,562         |       | 19 | のへじ常夜燈フェスタ        | 4,000         | 7/15        |
| 野辺地町  | 20 | のへじ活き活き常夜燈市場     | 40,888        |       | 20 | のへじ祇園まつり          | 45,150        | 8/16～8/19   |
|       | 21 | 野辺地町観光物産PRセンター   | 30,944        |       | 21 | まちなかにぎわい商工会       | 1,638         | 9/16        |
| 七戸町   | 22 | まかど温泉スキー場        | 15,030        | 七戸町   | 22 | 旧正まける日            | 23,000        | 2/9～2/10    |
|       | 23 | 十符ヶ浦海水浴場         | 4,519         |       | 23 | 天王つつじまつり          | 14,050        | 5/6～5/20    |
|       | 24 | 道の駅しちのへ（七戸町文化村）  | 733,396       |       | 24 | しちのへバラまつり         | 12,727        | 6/16～7/8    |
|       | 25 | 七戸町中央公園          | 41,951        |       | 25 | しちのへ夏まつり          | 3,600         | 8/16        |
| おいらせ町 | 26 | 東八甲田ローズカントリー     | 20,987        |       | 26 | しちのへ秋まつり          | 15,000        | 9/6～9/9     |
|       | 27 | 鷹山宇一記念館          | 15,532        | おいらせ町 | 27 | しちのへオータムフェスタ      | 1,390         | 10/27～10/28 |
|       | 28 | 七戸町営スキー場         | 11,487        |       | 28 | おいらせ町春祭り          | 13,988        | 4/28～5/6    |
|       | 29 | 東八甲田家族旅行村        | 2,814         |       | 29 | おいらせ百石まつり         | 21,000        | 9/15～9/17   |
|       | 30 | 観光農園アグリノ里おいらせ    | 424,925       | 六戸町   | 30 | おいらせ下田まつり         | 4,000         | 9/22～9/23   |
|       | 31 | おはよう広場           | 60,700        |       | 31 | 日本一のおいらせ鮭まつり      | 23,000        | 11/17～11/18 |
|       | 32 | いちよう広場           | 47,030        |       | 32 | ろくのへ春祭り           | 10,000        | 4/28～5/5    |
|       | 33 | カワヨグリーン牧場        | 55,000        | 横浜町   | 33 | 六戸秋まつり            | 22,000        | 8/30～9/2    |
|       | 34 | 観光PRセンター味祭館      | 43,141        |       | 34 | メイプルタウンフェスタ       | 25,000        | 11/3～11/4   |
|       | 35 | おっほくん広場          | 4,822         | 東北町   | 35 | 菜の花フェスティバルinよこはま  | 21,000        | 5/16～5/20   |
| 六戸町   | 36 | 下田公園             | 17,967        |       | 36 | 横浜町ふるさとまつり        | 17,350        | 8/14        |
|       | 37 | 間木堤              | 9,241         |       | 37 | 東北町桜まつり           | 13,800        | 4/28～5/6    |
| 横浜町   | 38 | 道の駅ろくのへ          | 120,258       |       | 38 | 東北町湖水まつり          | 62,300        | 7/21～7/22   |
|       | 39 | 道の駅よこはま          | 173,469       |       | 39 | わかさぎマラソン          | 5,500         | 7/21        |
| 東北町   | 40 | トラベルプラザサンシャイン    | 139,700       |       | 40 | 小川原湖物産191フェア      | 9,816         | 8/11        |
|       | 41 | 道の駅おがわら湖         | 290,724       |       | 41 | 東北町秋まつり           | 21,260        | 8/23～8/26   |
|       | 42 | 公立小川原湖少年の家       | 18,513        |       | 42 | 日の本中央たいまつ祭        | 19,436        | 9/7～9/9     |
|       | 43 | 小川原湖ふれあい村        | 6,135         | 六ヶ所村  | 43 | おがわら湖美味満彩祭り       | 1,700         | 9/30        |
| 六ヶ所村  | 44 | 小川原湖公園           | 15,766        |       | 44 | 生き活き産業文化祭り        | 10,700        | 11/3～11/4   |
|       | 45 | スパハウスろっかぼっか      | 137,253       |       | 45 | たのしむべ！フェスティバル     | 8,308         | 6/9～6/10    |
|       | 46 | 六ヶ所原燃PRセンター      | 37,864        |       | 46 | ろっかしよ産業まつり        | 8,000         | 11/3～11/4   |
|       | 47 | 六趣醸造工房           | 22,381        |       |    |                   |               |             |

|      | No | 自然公園   | H30<br>入込客数 |
|------|----|--------|-------------|
| 国立公園 | 1  | 十和田八幡平 | 2,232,061   |
| 国定公園 | 2  | 下北半島   | 657,151     |

※青森県観光入込客統計に記載の主要施設、行事、自然公園（国立公園、国定公園）について抽出

資料：青森県観光入込客統計



図 1-3-8 観光施設等位置図

## 4. 土地利用

### (1) 土地利用の状況

七戸町の土地利用は、総面積 337.23 km<sup>2</sup>のうち、山林が 41.6% (140.13km<sup>2</sup>)、田が 12.4% (41.87 km<sup>2</sup>)、畑が 6.3% (21.3 km<sup>2</sup>)、原野が 4.6% (15.3km<sup>2</sup>)、宅地が 1.9% (6.32 km<sup>2</sup>) となっており、自然環境が豊かな地域です。

表 1-4-1 土地利用状況

|                       | 田     | 畑     | 宅地   | 山林     | 原野    | 牧場    | 雑種地   | その他   | 計      |
|-----------------------|-------|-------|------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 面積 (km <sup>2</sup> ) | 41.87 | 21.30 | 6.32 | 140.13 | 15.30 | 11.64 | 12.73 | 87.94 | 337.23 |
| 構成比                   | 12.4% | 6.3%  | 1.9% | 41.6%  | 4.6%  | 3.5%  | 3.8%  | 26.1% | 100.0% |

資料：固定資産税概要調書

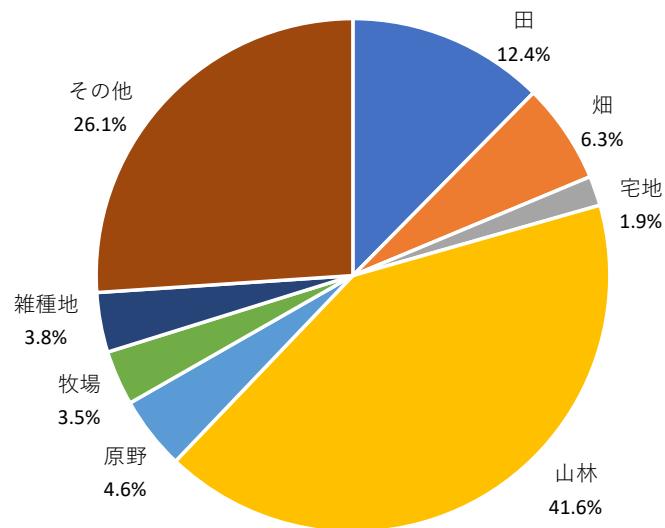


図 1-4-1 土地利用状況

※その他は、課税対象とならない公有地や道路河川などが含まれています。



## (2) 市街化の動向

## ①都市計画区域、用途地域の指定状況

都市計画区域は七戸町の一部 7,545ha が指定されており、そのなかに人口の約 55%に相当する 8,517 人が居住しています。

※用途地域は、平成 18 年に東北新幹線七戸十和田駅周辺の整備に伴い、字荒熊内の一部 35.7ha に新たな用途地域を指定し、七戸地区の市街地周辺と合わせて 307.7ha の指定となり、そのなかに 5,727 人が居住しています。

表 1-4-2 都市計画区域指定状況

| 都市計画区域名      | 七戸         |
|--------------|------------|
| 法適用年月日       | 昭和27年7月16日 |
| 最終区域指定年月日    | 昭和50年3月27日 |
| 面積 (ha)      | 7,545      |
| 区域           | 七戸町の一部     |
| 都市計画区域人口 (人) | 8,517      |
| 用途地域内人口 (人)  | 5,727      |

資料：青森県の都市計画（2020 年 3 月 31 日現在）

表 1-4-3 用途地域指定状況

|              | 面積 (ha) |
|--------------|---------|
| 第一種低層住居専用地域  | －       |
| 第二種低層住居専用地域  | －       |
| 第一種中高層住居専用地域 | 98.0    |
| 第二種中高層住居専用地域 | 6.8     |
| 第一種住居地域      | 105.0   |
| 第二種住居地域      | 29.0    |
| 準住居地域        | 14.0    |
| 近隣商業地域       | 33.0    |
| 商業地域         | 5.9     |
| 準工業地域        | 16.0    |
| 工業地域         | －       |
| 工業専用地域       | －       |
| 計            | 307.7   |

資料：青森県の都市計画（2020 年 3 月 31 日現在）

※用途地域：

都市活動の機能性、都市生活の安全性、利便性、快適性等の増進を目的として、住宅地、商業地、工業地等の主要な構成要素の配置及び密度構成について公共施設とのバランスに配慮した土地利用計画をもとに、土地利用の現況及び動向を踏まえて定められる都市計画法に基づく地域地区の一種で、目指すべき市街地像に応じて用途別に分類される 12 種類の都市計画の総称。



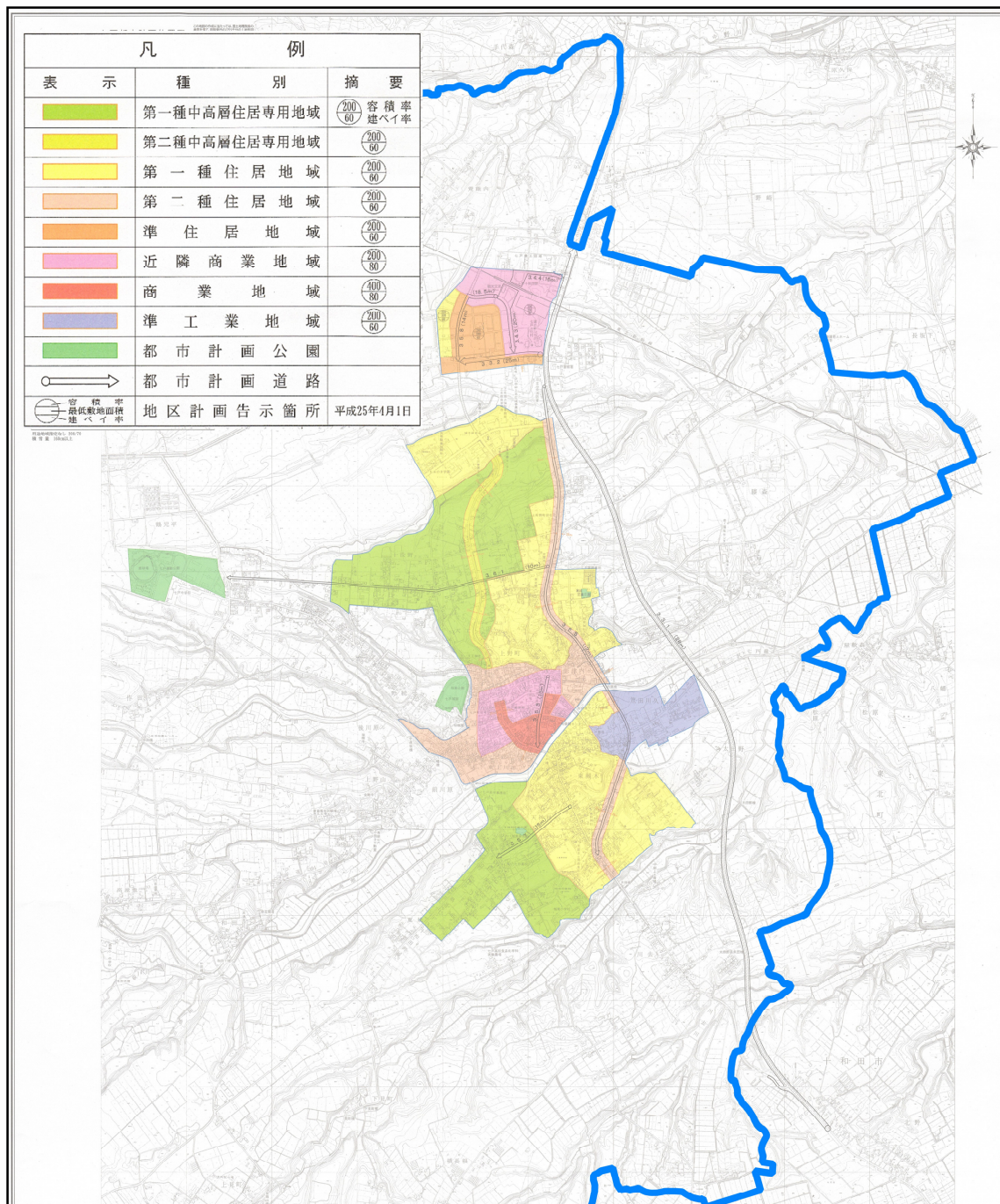


図 1-4-2 都市計画区域・用途地域の指定状況

## ②都市開発状況

## ・土地区画整理事業等

七戸町の土地区画整理事業は、東北新幹線七戸十和田駅周辺で実施され、七戸町の新たな市街地として整備されました。また、地区計画も同様に七戸十和田駅周辺に設定されています。

表 1-4-4 土地区画整理事業

| 地区名     | 施行者 | 面積 (ha) | 事業認可     | 施行年度    | 施行済 (ha) |
|---------|-----|---------|----------|---------|----------|
| 七戸町新駅周辺 | 町   | 21.9    | H18.5.16 | H18～H26 | 21.9     |

資料：青森県の都市計画（2020年3月31日現在）

表 1-4-5 地区計画

| 地区名    | 最終決定年月日  | 面積 (ha) |
|--------|----------|---------|
| 新駅周辺地区 | H18.3.29 | 35.4    |

資料：青森県の都市計画（2020年3月31日現在）

## ・新築件数

都市計画区域の過去5年間の新築件数をみると、平成25年に39件と突出していますが、それ以降は減少傾向にあります。

また、用途地域外より用途地域内での新築件数が多くなっています。

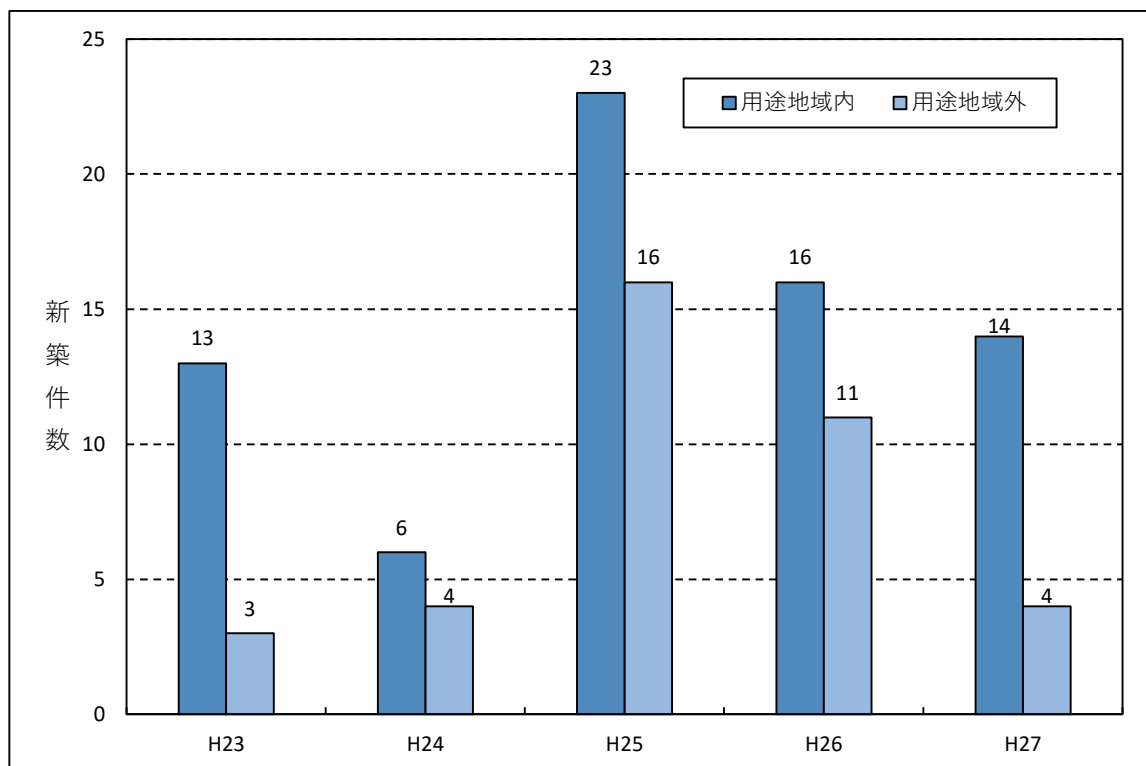


図 1-4-3 新築建築状況

資料：都市計画基礎調査



## ③地価動向

七戸町の地価は、ほぼ全ての地点で横ばいまたは下落していますが、近年下落幅の縮小や下げ止まりの土地も見られます。

表 1-4-6 (1) 地価動向 (円/㎡)

| 番号 | 所在地         | 用途     | H26価格  | H27価格  | H28価格  | H29価格  | H30価格  | H31(R1)価格 | 備考        |
|----|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|-----------|
| 1  | 字筑田川久保5番8   | 住宅     | 19,500 | 18,400 | 17,600 | 17,000 | 16,600 | 16,300    | 七戸-1      |
| 2  | 字太田野35番15外  | 住宅     | 8,800  | 8,600  | 8,400  | 8,300  | 8,200  | 8,100     | 七戸-2      |
| 3  | 字七戸210番3    | 店舗     | 22,500 | 21,400 | 20,500 | 19,000 | 19,400 | 19,000    | 七戸-5-1    |
| 4  | 字蛇坂25番2     | 住宅     | 11,500 | 11,200 | 11,100 | 11,100 | 11,100 | 11,100    | 七戸(県)-1   |
| 5  | 字七戸38番1     | 住宅     | 16,900 | 16,100 | 15,400 | 14,800 | 14,300 | 13,800    | 七戸(県)-2   |
| 6  | 字森ノ下168番1   | 住宅     | 5,800  | 5,600  | 5,400  | 5,300  | 5,300  | 5,300     | 七戸(県)-3   |
| 7  | 字向中野川向118番1 | 住宅     | 7,100  | 6,800  | 6,600  | 6,400  | 6,300  | 6,300     | 七戸(県)-4   |
| 8  | 字榎林家ノ後52番1  | 住宅     | 4,400  | 4,300  | 4,200  | 4,100  | 4,100  | 4,100     | 七戸(県)-5   |
| 9  | 字寺裏19番10外   | 住宅・事務所 | 18,200 | 17,400 | 16,700 | 16,100 | 15,700 | 15,400    | 七戸(県)-5-1 |
| 10 | 字道ノ上67番6外   | 銀行     | 12,200 | 12,200 | 12,200 | 12,200 | 12,200 | 12,200    | 七戸(県)-5-2 |
| 11 | 字荒熊内67番18外  | 工場     | 6,700  | 6,600  | 6,600  | 6,600  | 6,600  | 6,600     | 七戸(県)-9-1 |

資料：地価公示、都道府県地価調査

表 1-4-6 (2) 地価変動率 (%)

| 番号 | 所在地         | 用途     |  | H27/H26 | H28/H27 | H29/H28 | H30/H29 | H31(R1)/H29 | 備考        |
|----|-------------|--------|--|---------|---------|---------|---------|-------------|-----------|
| 1  | 字筑田川久保5番8   | 住宅     |  | △ 5.64  | △ 4.35  | △ 3.41  | △ 2.35  | △ 1.81      | 七戸-1      |
| 2  | 字太田野35番15外  | 住宅     |  | △ 2.27  | △ 2.33  | △ 1.19  | △ 1.21  | △ 1.22      | 七戸-2      |
| 3  | 字七戸210番3    | 店舗     |  | △ 4.89  | △ 4.21  | △ 7.32  | 2.11    | △ 2.06      | 七戸-5-1    |
| 4  | 字蛇坂25番2     | 住宅     |  | △ 2.61  | △ 0.89  | 0.00    | 0.00    | 0.00        | 七戸(県)-1   |
| 5  | 字七戸38番1     | 住宅     |  | △ 4.73  | △ 4.35  | △ 3.90  | △ 3.38  | △ 3.50      | 七戸(県)-2   |
| 6  | 字森ノ下168番1   | 住宅     |  | △ 3.45  | △ 3.57  | △ 1.85  | 0.00    | 0.00        | 七戸(県)-3   |
| 7  | 字向中野川向118番1 | 住宅     |  | △ 4.23  | △ 2.94  | △ 3.03  | △ 1.56  | 0.00        | 七戸(県)-4   |
| 8  | 字榎林家ノ後52番1  | 住宅     |  | △ 2.27  | △ 2.33  | △ 2.38  | 0.00    | 0.00        | 七戸(県)-5   |
| 9  | 字寺裏19番10外   | 住宅・事務所 |  | △ 4.40  | △ 4.02  | △ 3.59  | △ 2.48  | △ 1.91      | 七戸(県)-5-1 |
| 10 | 字道ノ上67番6外   | 銀行     |  | 0.00    | 0.00    | 0.00    | 0.00    | 0.00        | 七戸(県)-5-2 |
| 11 | 字荒熊内67番18外  | 工場     |  | △ 1.49  | 0.00    | 0.00    | 0.00    | 0.00        | 七戸(県)-9-1 |

資料：地価公示、都道府県地価調査

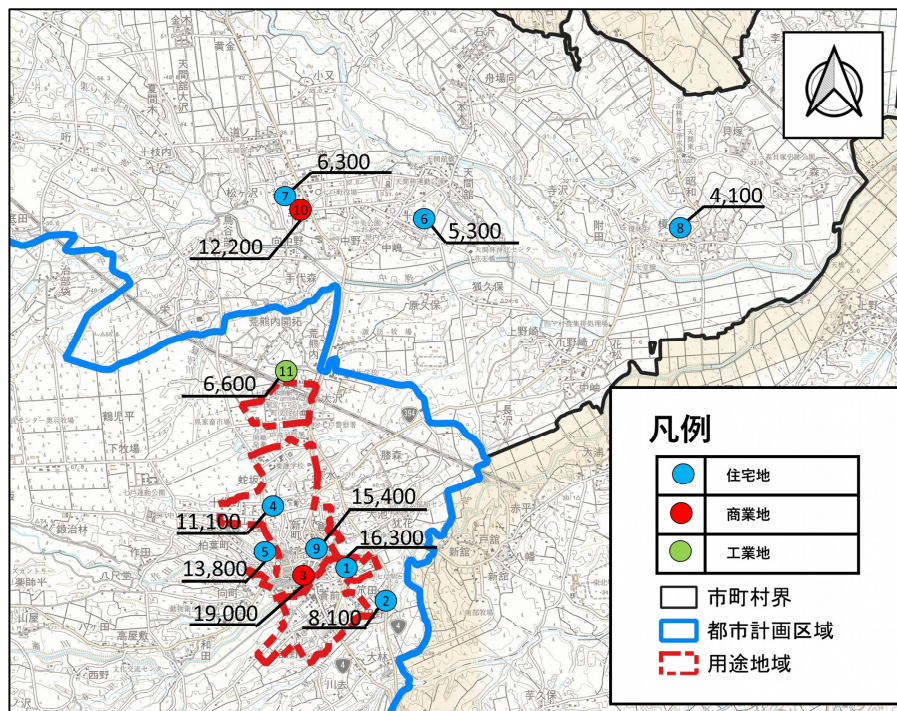


図 1-4-4 地価動向

資料：地価公示、都道府県地価調査

## (3) 土地利用規制の状況

七戸町の土地利用に係わる法的な規制状況は、急傾斜地崩壊危険区域では、河川により形成されている谷底低地と丘陵地境界付近の崖に指定されています。

表 1-4-7 土地利用規制状況

| 地域・地区                  | 名称       | 指定年月日       | 面積 (ha)     | 備考         |
|------------------------|----------|-------------|-------------|------------|
| 鳥獣保護区                  |          | H14. 11. 1  | 1, 375. 00  |            |
| 農業振興地域                 | 七戸農業振興地域 | H30. 8      | 7, 566. 00  |            |
|                        | 農用地区域    |             | 2, 684. 00  |            |
| 名勝・天然記念物等              | 七戸城跡     | S16. 12. 13 | -           | 史跡         |
| 急傾斜地法による<br>急傾斜地崩壊危険区域 | 家ノ前      | H18. 1. 30  | 0. 81       |            |
|                        | 北口       | S45. 12. 8  | 1. 72       |            |
|                        | 北口       | S57. 12. 28 | 0. 59       |            |
|                        | 東槻木      | S48. 3. 31  | 0. 86       | 東槻木2号含む    |
|                        | 城内       | S49. 2. 23  | 1. 54       |            |
|                        | 東槻木2号    | S51. 3. 18  | 0. 46       |            |
|                        | 倉越1号     | S52. 3. 26  | 0. 60       |            |
|                        | 城ノ後      | S54. 1. 23  | 2. 64       |            |
|                        | 上町野      | S62. 2. 21  | 1. 11       |            |
|                        | 天神林3号    | H3. 3. 11   | 1. 06       |            |
|                        | 天神林3号    | H15. 11. 28 | 1. 58       |            |
|                        | 影津内      | H8. 2. 26   | 0. 87       |            |
|                        | 野続1号     | H14. 3. 25  | 0. 73       |            |
|                        | 桜田1号     | H2. 3. 25   | 1. 92       |            |
|                        | 七戸町      | H4. 3. 30   | 13, 523. 00 |            |
| 悪臭防止法                  | 七戸町      | H4. 3. 30   | 13, 523. 00 |            |
| 水質汚濁に係る環境基準の<br>類似指定地域 | 七戸川      | S55. 3. 25  | -           | 七戸川全域及び支派川 |
| 砂防法                    | 砂防指定地    | S19. 12. 20 | 208. 51     |            |
| 保安林                    |          |             | 1, 127. 00  |            |
| 青森県緑地保全地域              | 僧ヶ杜      | S50. 7. 12  | 65. 64      |            |

資料：都市計画基礎調査



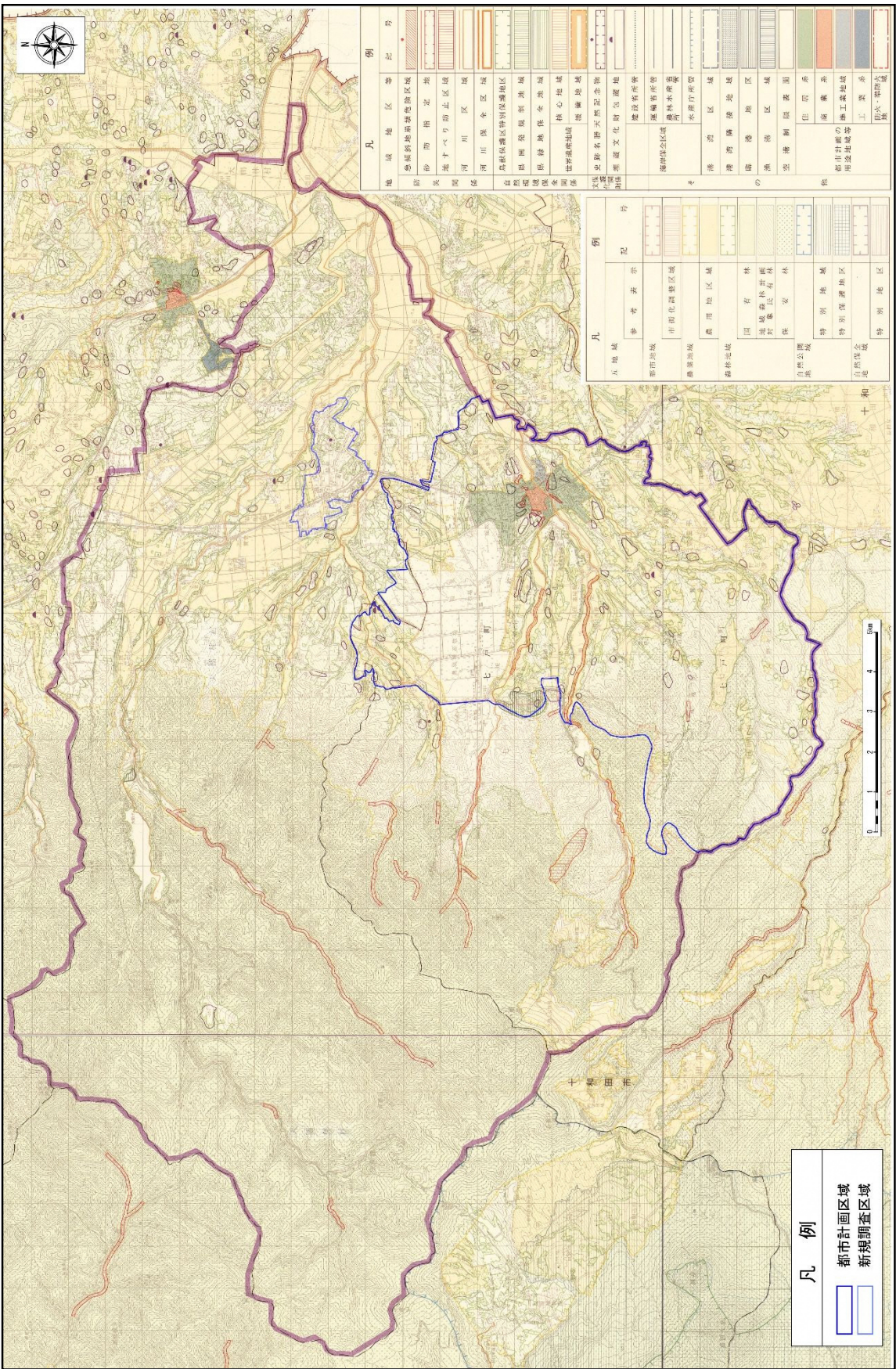


図 1-4-5 土地利用規制状況 資料：青森県防災・保全等規制現況図